

台湾新聞

TAIWAN NEWS ◆ 2016年2月1日号 東京発行 NO.226

発行元: 有限会社 台湾新聞社 〒171-0021 東京都豊島区西池袋 4-19-4 TEL: 03-5917-0045 FAX: 03-5917-0686 http://www.taiwannews.jp E-mail: info@taiwannews.jp
■定期購読をご希望の方は台湾新聞社までお問い合わせ下さい。 定価 350円(税込) 定期購読 12回: 3,500円(税込) / 24回: 7,000円(税込) ©郵便振替: 00140-4-594168

トランスアジア航空で台湾へ

台北まで
早売 **9,800円**(往復)
好評発売中!

ご予約は弊社HP、もしくはお近くの旅行会社まで
www.tna.com.tw/jp

民进党・蔡英文が政権奪還—台湾初の女性総統誕生—



民進黨の蔡英文主席(中央)が台湾初の女性総統に

台湾では1月16日、4年に1度実施されている台湾総統選挙及び立法委員選挙の投票が行われ、野党・民進黨の蔡英文主席が与党・国民党の朱立倫主席に約300万票という差をつけ当選。台湾初の女性総統が誕生する事となった。民進黨への政権交代は8年ぶり、副総統は蔡主席とペアを組んだ中央研究院の元副院長、陳建仁氏が務める。蔡主席の総統就任式は2016年5月20日で、任期は4年となる。

また、立委選でも民進黨は定数113議席のうち過半数の57議席を大幅に上回る68議席を獲得。初めて非国民党系勢力が議会の過半数を制した。一方の国民党は以前の64議席から35議席にまで落ち込み、親国民党は変わらず3議席、小政党の台聯は議席を失った。

2000年から2008年まで続いた民進黨の陳水扁政権では、立法院で国民党が過半

数を占めていたため、重要法案を通すのに苦勞が絶えなかった。今回、初めて民進黨優位の立法院が実現したことにより、蔡政権にはスムーズな政権運営になると見られる。

見事、勝利を勝ち取った蔡主席は16日夜、台北市内の党本部前で、「台湾人は投票によって歴史をつくった。神聖なる一票を投じた人々に深い敬意を表する。我々は今回の選挙を通じ、民主主義の価値が既に台湾人の血液の中に深く入り込んでいることを国際社会に改めて知らせた」と述べた。さらに、22日に党本部で中央選挙委員会から当選証書を授与された際にも「権力は天から与えられたものではなく、人民から借りてきたものだ」と語り、台湾の民意を尊重した。

なお、国民党の朱立倫主席は16日、結果を受け入れ敗北宣言を表明。「申し訳ない。皆を失望させた。我々は失敗した」と国民党支持者に謝罪し、責任を取るため党主席を

辞任した。

このほどの総統選挙の投票率は前回(2012年)の74.38%を大きく下回る66.27%となり過去最低で、蔡主席の得票数6,894,744票(得票率56.12%)は、2004年の陳水扁氏の6,471,970票(得票率50.11%)を上回り、民進黨候補で過去最高である。この事を考えると、今回の選挙では、国民党支持者の投票意欲が低かったことが伺える。(2面に関連記事)

結にも意欲をみせた。民進黨の発表によると蔡主席は、継続した意思疎通と理性的な態度は外交運営の鍵になると強調したうえで、経済上の障害を取り除き、日台双方の関係強化を目指したいと話したという。

これについて衆議院の秋元司議員は台湾新聞の取材に答え、「FTAにおいては、今でも貿易そのものは台湾との間で自由に行われているという認識がある。ただ日本としては、昨年、科学的根拠に基づかない一方的な日本食品輸入規制をされてしまったことを非常に残念に思っている。是非この問題を解決していただきたい」と現状の改善を要求した。

なお、蔡氏は同会談で、兩岸間の「一つの中国」の原則を巡って対立が予想される中国の習近平政権との関係についても触れており、「5月の政権発足後、誠心誠意話をしていきたい。平和と安定の維持に力を注ぐ」と述べ、選挙中から掲げていた中国大陸との現状維持の体勢を改めて主張した。

◎写真提供: 中央社

日米からも祝辞

昨年10月に訪日していた蔡主席の総統当選の知らせを受け、日本の安倍晋三首相は18日、参議院の予算委員会で、蔡英文主席に対し祝意を表明。「日本と台湾の協力、人的交流がさらに進んでいくことを期待する」と述べるなど、日台関係の強化に意欲を示したほか、「台湾は日本の古くからの友人だ。自由な言論のうえに、選挙によってリーダーを決める総統選挙は、台湾の自由と民主主義の証だ」と評価した。

また、菅義偉官房長官も同日に行った記者会見で、同じく蔡主席の当選に祝意述べたうえで、台湾がTPP(環太平洋戦略的経済連携協定)への参加に意欲を示していることについては、「台湾がTPPに参加すれば地域の安定と繁栄に大きく寄与する。今後、台湾と有意義な議論をしていきたい」と歓迎した。

蔡主席への祝辞はアメリカからも届いており、アメリカ国務省のカービー報道官は16日、台湾の総統選挙に関する声明を発表し「蔡氏の勝利とともに平和的な権力移行が行われる強固な民主主義を体現した台湾の人々を祝う」とした。

蔡主席、日台関係強化に意欲

蔡主席は総統選翌日の17日、訪台していた交流協会の大橋光夫会長と会談し、今後、経済協力を中心とした日台関係の強化に取り組む考えを示し、FTA(自由貿易協定)の締

TOPIC

- 日本語版
- 台湾総統選・立委選 特集 2面
 - 横浜で「台湾の鉄道展」開催 6面
- 中国語版
- 台湾大選結果出爐 1、8面
 - 人物專訪: 日本千葉台灣商會會長濱田裕子 4面
 - 東京首間市區機場型免稅店銀座開幕 6面

WEBでもニュース記事が読めます

<http://blog.taiwannews.jp>

2016年度新年会承ります
南国料理で宴会プラン楽しく歓迎会!!

予約電話: (03)5215-2537

プロフィール

蔡英文

生年月日: 1956年8月31日 (59歳)

出身: 中華民国 台北市

政党: 民主進歩党

現職: 第15代民主進歩党主席



1956年台北市生まれ。李登輝政権時代に經濟部貿易調査委員会委員などを歴任し、民進黨が政権を握った2000年には台湾の対中国大陸政策を主管する大陸委員会主任委員となった。2005年には立法委員に、2006年からは行政院副院長などを歴任した。2008年に陳水扁前総統の後任として民進黨の主席に就任し、2010年には新北市長選に出馬したが、国民党の朱立倫氏に惜敗。2012年の総統選挙では、同党の馬英九氏に敗れ、再選を許した。蔡氏は敗戦の責任をとって主席の座を降りたが、2014年に再び就任している(民主進歩党HPより)。

- 政策
- 外交—「新南向政策」 ASEAN(東南アジア諸国連合)とより深く、より多角的な関係を築く。
 - 労働—年間労働時間の短縮を目指し、労働者の週休2日を実現する。「最低賃金法」の制定を主張。
 - 兩岸—兩岸関係の基本原則である「兩岸の現状維持」を保持。
 - 食安—十分の人と資金を投入し、検査の頻度と強度工場、商品の有害物質のリスクアセスメントを施し、食品安全を保障。
 - 財政—1、インベーションにおける競争力の強化。2、国内産業を強化し、経済を活性化。3、ローカル都市経済の発展を重視。

2016総統大選得票数及得票率



日本と共に半世紀

チャイナ エアラインは、半世紀に渡って日本の皆さまよりご愛顧頂いている台湾の翼です。日本各地の15空港と台湾を、週180便以上のフライトで結んでいます。お近くの空港から台湾へ、世界へ。海外へのご出張、ご旅行は、快適でスムーズな翼、チャイナ エアラインで。

CHINA AIRLINES

EVA AIR A STAR ALLIANCE MEMBER

オンライン予約にて航空券をご購入の際、【SFTP9!】をご入力いただくだけで、10%の割引を受けられます。
www.evaair.co.jp

日本語のFacebookを開始しました。各種キャンペーンや航空券のおトクな情報も掲載しています!
詳細はこちら: facebook.com/evaairwayscorp.jp

国民党、大敗認める



敗北を宣言する国民党の朱立倫主席(右)
このほど、国民党の朱立倫氏の総統選における得票率は31.0%で、国民党にとっての分裂選挙となった2000年の総統選挙を除き、最も低い得票率だった。党の大敗を認め、責任を取るため主席を辞任した朱立倫氏。これに続き、当時行政院長だった毛治国氏も18日、自らの辞任と行政院の総辞職を表明した。

馬総統は、行政院総辞職を認めず、民進黨の蔡主席に行政院長の指名を要請したが、蔡主席が23日に要請を正式に拒否したため、馬総統は民進黨による組閣を断念。25日、毛氏の辞任を認め、後任に行政院の張善政副院長を任命した。張氏は今後、新政権と密接に意思疎通を行うとしている。新しい内閣は、立法院の新会期が始まる2月1日に正式に発足する。

なお、国民党の主席選は3月26日に実施されることになり、立法院の洪秀柱副院長や現在、代理主席となっている黄敏惠氏が出馬する。前台北市長の郝龍斌氏も出馬を表明していたが、直前になり「今後、私は黨員として党内の全黨員たちと共に国民党の進む方向を探し、共に党の建て直しを図っていく」と述べ、出馬しない意向を示した。

一方、主席を辞任した朱氏は18日、総統選のために休職していた新北市長の公務に復帰。約3カ月間の休職について市民に謝罪するとともに、「今後全力で市政運営にあたる」と述べた。

変化する台湾の民意

8年間の間続いた国民党の馬英九政権下では台湾経済の対中依存度が向上したほか、中国大陸の自由旅行開放などを受け、訪台する中国人観光客が増加したことから、自らを「中国人ではなく台湾人」と考える「台湾アイデンティティ」なる意識が広まった。

そして、2014年に起こった兩岸のサービス貿易協定においては、馬総統が中国大陸側とブラックボックスの中で話を進めた事に対し怒りをあらわにした学生らが、立法院を占拠するなどのデモ活動「ひまわり学運」を巻き起こし、若者の政治への関心を高め、馬政権への不信感を強めた。その後の2014年11月に行われた台湾統一地方選挙では、この一連の民意が露骨に結果に表れ、国民党は6大直轄市長選で新北市のみの当選、台北市や台中市でポストを奪われるなど完敗。当時国民党主席だった馬総統は責任を取り主席を辞任した。

さらに馬総統は2015年11月、歴史的ともいえる兩岸首脳トップ会談を実現させ、中国大陸の習近平国家主席と「一つの中国」原則を中台間で確認したとされる「92年コンセンサス」の強化、敵対状態の緩和、交流の拡大、兩岸ホットラインの設置などについて話し合った。このような状況下で台湾の民意は、台湾と中国大陸との接近に危機感を覚えず、兩岸関係の現状維持や民主主義制度を重んじる政策を掲げていた民進黨が民意を代表する形で当選したとも考えられる。

「一つの政党が政権を握る期間が長すぎた。この8年間、馬政権下では優良な改善が見られなかった。今回は民進黨に想いを託し投票した。新しい総統と政府には、さらに深く民衆の声を理解してほしい」と(台湾人女性・29歳)。

「国民党は馬英九総統に潰されてしまった。民進黨と蔡総統に望むことは、“台湾という国を世界に認めさせてほしい」ということ。民進黨に期待している」(台湾人男性・21歳)。

国民党が支持者の信頼をどのように取り戻すのか、注目される。



開票中、民進黨本部前に集まった
民進黨支持者ら

立委選と時代力量

台湾の立法院は全113議席で、小選挙区比例代表並立制で議員を選出する。選挙区73議席、比例34議席、原住民枠6議席の内訳だ。このほどの結果を選挙区別に見てみると、台北市では8議席中5議席を国民党が獲得し、民進黨の2議席を上回るなど善戦した。また、桃園市では民進黨が3議席で国民党は2議席、台中市では民進黨が4議席で国民党は3議席獲得と、大差はない。

しかし、2014年の地方統一選で唯一国民党候補が市長の座を守った新北市では、民進黨の9議席獲得に対し、国民党は2議席獲得にとどまったほか、元々民進黨の支持者が多い高雄や台南などの台湾南部では民進黨が23議席を独占し、国民党は議席ゼロとなった。

一方、存在感を見せたのが2015年1月に結党したばかりの「時代力量(=時代の力、New Power Party)」だ。同党は立委選で3つの選挙区で現職有利の情勢を逆転して勝利し、比例区でも2議席を獲得。民進黨と国民党に続く全5議席を獲得し、第3党に躍り出た。

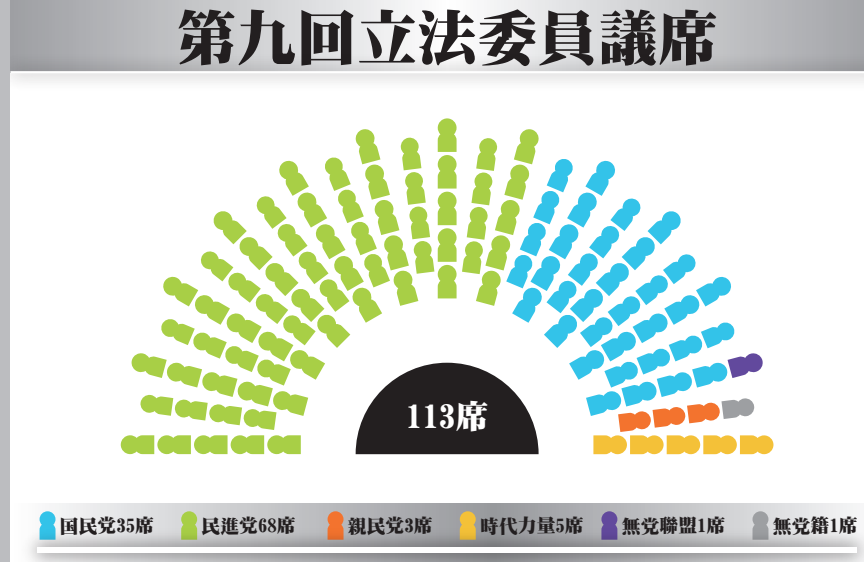


投票当日の記者会見を行った党主席の黃國昌氏と林昶佐氏

とりわけ同党の党首を務める黄國昌氏は新北市12区に立候補、運動を通して得た高い知名度などを武器に国民党のベテラン議員の李慶華氏を破った。さらに台北市第5区で立候補していた林昶佐氏も、現職の林郁方氏に挑み、伝統的に国民党が強い選挙区での戦いに苦戦したが見事当選。台湾ヒップホップバンド「ソニック(CHTHONIC、閃靈樂團)」のボーカル・フレディとしても知られている林氏は16日、議席獲得を受けて「アジアで初めて立法院に入ったロック歌手だ。私は長髪で刺青があるが立法院に入ったのだ」と喜びをあらわにした。林氏は音楽活動の傍ら、長年にわたって社会問題に取り組んでおり、過去には国際人権団体アムネスティ・インターナショナルの台湾支部理事長などを務めた経歴を持つ。

同党は、2014年の「ひまわり学運」からの流れをくむ新政党で、「台湾の独立」を強く主張している。民進黨の蔡主席も「我々と同じく改革を志す候補者たちだ」と評価されており、今回の選挙でも民進黨と一部の選挙区で協力していた。

平成国際大学法学部長の浅野和生氏は同党について、「通常の選挙区で国民党を



韓国アイドルグループの周子瑜事件

台湾総統選の投票前日、昨年秋に誕生した韓国アイドルグループ「TWICE」で活動する16歳の台湾人歌手・周子瑜さんを巡る騒動が台湾で波紋を呼び、選挙結果に影響を与えた可能性が指摘された。

周さんは昨年末に韓国のテレビ番組収録中に中華民国(台湾)の国旗を、韓国の国旗と共に振り、これに対し、台湾出身のタレント・黄安が中国版Twitterの「微博」で「台湾独立を支援している」と批判。たちまち中国大陸のネット上で騒ぎとなり、批判を浴びた。これを受けて所属事務所は1月14日、中国ファン向けに周さん自らが「私は中国人として誇りを持っています。兩岸は一つです」と書かれた謝罪文を読ませた動画を公表した。このニュースは翌15日に台湾全土で大々報道され、「中国側が圧力をかけたのではないか」「16歳の女の子にこんなことをさせる

なんてかわいそうだ」などと反発が広がった。台湾メディアによると国民党幹部は16日、「(騒動が)敗因の1つになった」と記者団に認めたとしているほか、民進黨の蔡主席は、「中華民国の国民が国旗を持ち、自国への思いを表すのは国民の権利だ。その気持ちを押し潰すべきではない」とコメントしたという。

同事件は中国側が関与したかは不明であったが、結果的に台湾アイデンティティを強めることとなり、少なからず影響は出たのだろうと推測されている。



国旗騒動の周子瑜さん

大敗した国民党に与えられた課題とは



平成国際大学法学部長の浅野和生氏

1月16日に行われた台湾総統選挙及び立法院選挙結果について、世論で野党・民進黨の圧勝が謳われているなか、平成国際大学法学部長の浅野和夫氏は1月23日、プレスセンターで行われたアジア問題懇談会で「蔡英文 or 民進黨の圧勝か、馬英九 or 国民党の大敗か」の題材で講演し、「国民党の今の態度が変わらなければ、国民党の将来は厳しい」と断言した。

浅野氏によると、今回の選挙の特色は平年に比べ投票総数が低かった事あげた。現に2012年の総統選の投票総数が13,452,016票だったのに対し、今回の総統選は12,448,302票と減少。およそ100万人が投票しなかった事を指摘する。これは、国民党支持者があて投票に行かなかった事が起因しているとし、投票に行った国民党支持者のなかにも親民党に鞍替えするケースもあり、結果、民進黨が与党国民党に約300万票の差で歴史的な勝利を勝ち取る結果となった、と浅野氏は分析している。また、同時に行

れた立法院選挙でも、全議席数113議席のうち過半数を超える68議席を民進黨が獲得。一方の国民党は選挙前の64から35まで議席を減らした。

では、国民党がこれほどまでに国民からの支持を失ったのは何故なのだろうか。一般的には、台湾人の「私は中国人ではなく台湾人である」といった台湾アイデンティティの高まりが原因とも見られているが、2014年に起こった馬英九総統が中国とブラックボックスの中で進めてしまったサービス貿易協定の問題や、昨年に歴史的な兩岸トップによる首脳会談を実現させ、中国に接近していた国民党への警戒が強まった結果なのではないかという例も挙げられている。しかし、浅野氏は、「台湾の政治大学選挙研究センターが毎年行っている台湾アイデンティティに関する意識調査を引用し、2008年より中国人の訪台者の増加と中国で仕事をする台湾人の増加が関係している。2008年から2012年にかけて、すでに『私は台湾人だ』という人は急激に増加していた。しかし、2012年の総統選では、その結果に関係なく国民党が勝利。選挙に影響はなかった」と分析した上で、国民党への不信感が「組織原理の非民主制が原因だ」と結論づけた。

さらに、国民党はここ数年、馬総統と立法院の王金平院長との間にある、あからさま

な党内対立があり、その背景からか、総統選3ヶ月前の異例の擁立候補者の変更、国民党の総統候補者だった朱立倫氏の4ヶ月前新北市市長を休職しての出馬などの退路を用意した生半かな態度など、国民党支持者をしらけさせる一連の動きがあった。この結果、浅野氏は「このような態度が続くならば誰が投票に行くか、という民意が露骨に表れたのが今回の選挙結果」とも指摘した。

2016年、民進黨から台湾初の女性総統が誕生し、今後の民進黨の動きに期待と不安が集まるなか、国民党の再生に向けた動きがみられるかどうか、台湾政治は世界中から注目されている。



浅野和生氏(中央)と台湾人留学生

Voice 衆議院・秋元司議員

今、台湾では、台湾生まれ台湾育ちの若い世代が自らの意思で、誇りとアイデンティティをもって「国作りをしていきたい」というパワーがみなぎっていると感じている。このたび、民主主義的な選挙を通じて民意が示され、その示された民意に基づき蔡氏が政権を任せられる事となり、大変喜ばしく思う。兩岸関係においては、蔡氏は現状維持を訴えられ選挙に望み、これを受けてこの選挙結果が出ている。蔡氏は、まずはこの形をしっかり構築していくと思う。その上で、台湾の民意がどうなっていくかを含め、次の展開を考えていこう。我々日本としてはどんな形になろうとも台湾との関係は変わらない。(中国からの圧力があっても)台湾とは今までもこれからもは変わらぬ友情関係でいたいと思っている。

投稿 「周子瑜事件」に思うこと - 台湾・中華民国のジレンマ

大阪大学大学院 岡野翔太(葉翔太)

私は、日本生まれの台湾人二世で、今は大学院で「戦後日本華僑社会における中台関係」などをテーマに台湾関連の研究をしています。政治的にも敏感な研究テーマではありますが、なぜ、私がこのようなテーマを選んだかと言いますと、それは「自分の祖国はどこのなかか」「自分とはなに人」なのか混乱していたことにあります。

幼い頃より日本と台湾を行き来し、自然と自分のルーツは「台湾」だと強く想っており、特に支持政党はありませんが「中華民国」という国号や青天白日滿地紅旗にも愛着を持っています。今思えば仕方ないことですが、家の近くという理由から中国大陸系の小中一貫の華僑学校に通ったため、台湾に関して教師と衝突することがありました。

読書感想文で、小林よしのりの『台湾論』を書いたとき別のものを書けと命じられたこともあれば、クラス新聞で台湾の選挙を記事にしたら白く塗り潰されたことがあります。中学2年生のときに、作文で「日本と台湾の架け橋になりたい」と書いたら、「台湾」という字を赤で消され「中国」と朱書きされていました。「どうして台湾と言っちゃいけないのか」「台湾人ということはいけないことなのか」という思いが、自分のなかで沸いてくるようになりました。

台湾や中華民国にルーツのある方、誇りを抱いている方なら、その複雑な政治環境から何処かどこかしい気持ちを感じる場面は遭遇することは少ないかと思えます。台湾では本土化が進み、さらに多文化社会と言われて久しいですが、現地で忘れられがちなのが中

華民国にシンパシーを抱く華僑の存在です。台湾が歩んできた複雑な歴史から、人々の国家や国旗・国歌に対する思いも様々なものですし、それぞれの思いは自由で民主的な国家においては尊重されるべきものです。ですが、台湾人/中華民国国民が一部国外に出ると自分たちの「祖国」はどこにあるのでしょうか?台湾にルーツはなくても日本で中華民国を背負った王貞治選手、かつて北京を支持した天安門事件でそれに失望した作家の陳舜臣先生、そして独立運動を展開した王育徳氏。どこから台湾の仲間、一体どこから仲間じゃないと言い切れるのでしょうか?

総統選挙の直前に突如としてわき起こった「周子瑜事件」は、台湾国内でも国旗はなにかを問わせ、そしてジレンマを浮かび上がらせた出来事と言えます。国際的な場面で国旗(青天白日滿地紅旗)がほとんど見られない中、私はそれを日本で目にするといつも感動を覚えます。自分が「台湾人」と主張すること、そして今、台湾ではためいている自分の国の国旗を持つことが、なぜ他者から非難されなければならないのでしょうか。私は胸をはって「台湾人」だと言います。また、中華民国国籍を堅持する親は私の誇りですし、自分の祖国は中華民国・台湾です。今回、「周子瑜事件」の報道を聞き、いかなる場面でも政治的な袋小路に立たされてしまう台湾のジレンマを痛感し、筆を取らせて頂きました。25歳の私には、未熟で至らない部分も多くありますが、かつて赤で消された台湾と日本の交流のために日々精進していこうと思えばかです。



目指すは日台の協力関係強化! ～ライティングジャパンに台湾企業14社が出展～

照明器具を主体とした開発技術の展示会「ライティングジャパン2016」が1月13日より15日まで東京ビックサイトで開催された。台湾区照明灯具輸出業同業公会(以下:同会)率いる台湾企業14社は同展内の「第8回ライトテック EXPO」に出展し、広くその技術をアピールした。

同会は、ライトテック EXPO の開催時より毎年台湾パビリオンに出展している。今年の出展企業は、主に LED を使用した製品を数多く展示し、各企業それぞれが独自技術による台湾の品質の高さを PR した。同会の監事会召集人の姚文氏によると、出展企業は大手企業に加え、自ら出展を申し出た中小企業からの出展が多数を占めた、と説明した。

台湾現地ではなく、日本と欧州を中心に LED tube、天井灯、ダウンライトなどの商



台湾区照明灯具輸出業同業公会の監事会召集人(左)らも各社を視察

品構成で展開する和正豊光電股份有限公司は、台湾製と日本製の部品のみを使用し、品質の高さを武器にその技術力を売りにしている。同社製品を PR する陳威氏によると、中国大陸や台湾の他企業と比べ、製品の値段は割高だが天井灯は故障時の修理代が高くつくケースもあり、「最初から良いものを購入し長く使用したい」という顧客から好評を得ている、という。さらに陳氏は「20年の東京オリンピックで使用する競技場の天井灯に設置していただけるようアピールを続けていきたい。さらに、日本支社の設置を計画中」と日本市場向けの目標を語っていた。

また、12年前よりすでに台湾の明緯企業股份有限公司(以下:明緯)と代理店契約している協和の安川洋一氏は「LED、各種電源を取り扱う明緯と代理店の契約を締結する頃は知名度が低かった。しかし、現在は業界内でも有名企業になっており、明緯の商品を使いたいという企業はかなりの多い。やはり低価格・高品質というのが人気の原因だろう。日本の技術にはまだ及ばないが、海外のメーカーと比べれば品質は1番だ」と評価している。

一方の姚氏は、業界全体の日本市場における現状について、「今までライトテック EXPO に出展してきたが、我々台湾の業者にとって日本の業者はライバル関係にあるため、日本と台湾の協力関係はまだ薄いといえ



日本と台湾の部品のみを使用した和正豊光電股份有限公司の天井灯

る。しかし、世界のマーケットに進出する事を視野に入れると、将来的には日台の企業が提携し協力関係を築いていく必要がある」と課題を提示。その上で「日台はもともと有効な関係にあるため、協力関係を築く際に大きなトラブルはないだろう。日本の技術の高さと、台湾の生産力の高さを上手くマッチさせれば良い協力関係が生まれる」と期待していた。

同展初日の13日、台湾パビリオンを視察した台湾貿易センター東京事務所の呉俊澤所長も、「日台の照明業界で企業間の提携例は少ないため、台湾貿易センターでも日本企業側の説得などの面で協力したい。ここ2〜3年来、同業界の景気は日本も台湾も良くない状況が続いている。この状況を打破するためにも日台は協力していくべき」と述べ、日台の協力関係強化の必要性を改めて示した。

台湾語で もっと臺灣

台湾では中国語の他に、台湾語も広く使用されています。台湾特有の言葉を覚えて台湾への理解を深めましょう!

受け答え編

台湾語: スイ

日本語: すごい、綺麗
中国語: リーハイ(厲害)、ピャオリヤン(漂亮)

台湾語: エンダオ

日本語: カッコいい
中国語: シュワイ(帥)

台湾語: ゴースイ

日本語: 可愛い
中国語: クワイ(可愛)

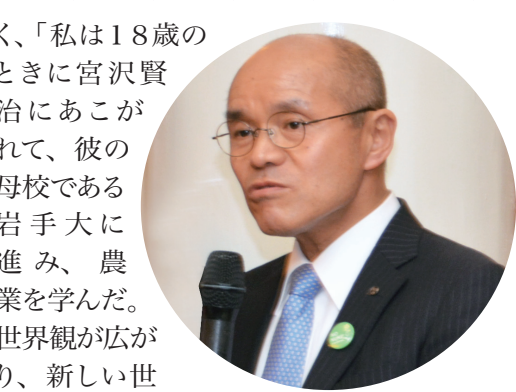
※台湾語は地域により様々な言い回しがあります。同コーナーでは一般的によく使われる台湾語を力カナで紹介しております。

南相馬市桜井市長、台湾初訪問で講演

東日本大震災と東京電力福島第一原発事故により甚大な被害を受けた福島県南相馬市の桜井勝延市長は昨年12月に初めて台湾を訪れた。震災後の同氏の海外訪問は今回が初めて。訪問先の台北市の国立台湾大学で同27日 NPO 法人日台学生交流会(和田健一郎代表理事)主催の「感謝台湾交流会」に出席し、台湾の学生たちに震災時の義援金への感謝の気持ちとエールを伝えた。

交流会には台湾大生ら約80人が出席した。桜井市長は随員らと共に会場に現れて中国語であいさつし、「私は皆さんに感謝の気持ちを伝えるために台湾に来た。南相馬市民を代表して心から御礼を申し上げます。今後、台湾と日本、南相馬市の関係がより親密になっていくように取り組んでいきたい」と述べ、震災と原発事故当時の体験や自身の学生時代の思い出を語った。

学生たちの表情を見た桜井市長は「皆さんは若い。私も自分はまだ18歳だと思っている」とおどけてみせた。会場は和やかな笑い声に包まれたが桜井市長の話は続



く、「私は18歳のときに宮沢賢治にあこがれて、彼の母校である岩手大に進み、農業を学んだ。世界観が広がり、新しい世界をもっと知りたいという衝動からたくさんの人と会って、各国の農業の現場を見て回った。ぜひ皆さんも今の新鮮な気持ちを忘れずにいてほしい。原発は本当に必要なのか?などの疑問にも、自分なりに納得のいく答えを見つけていってほしい」と語りかけると、学生たちは真剣な表情になっていた。

最後に桜井市長は「皆さんもぜひ、南相馬に来てほしい。そして、同年代の若者と語り合って友達になってほしい」と結んだ。講演後、桜井市長は学生らからの質問攻めにも、終始こやかに対話していた。



感謝台湾交流会にて

沈代表、新年会で「今年は挑戦とチャンス的一年」

台北駐日経済文化代表処(沈斯淳代表、以下:代表処)は1月4日、代表処内で新年会を開催した。同会には交流協会の今井正理事長をはじめ、在日台湾政府団体の代表や在日台湾企業関係者、在日華僑団体の会長など多くの出席者で新年を祝った。

沈代表は挨拶の冒頭で、「中年は勝負に勝つ年、別の言い方で「勝る」(マサル)年」と干支にちなんだ言葉を引用し、1年の安泰を祈願。また、メディアの取材に対しては「今年は挑戦の年であり、チャンス的一年でもある。代表処はもちろん全力で精進し、皆様からの支持のもと、日台間でより高品質な相互交流の機会を創り出したい。なお、全ての直面する議題にも適切な対応を獲得する」と抱負を述べた。

さらに沈代表は TPP についても言及し、「台湾は TPP 参加国と極めて密接な経済・貿易関係があり、我々としても早期に TPP に参加したい」と述べ、日本各界からの

支援を求めたほか、文化面では今年10月に、先日プレオープンした台湾・嘉義の国立故宫博物院南部分院で、東京と九州の国立博物館所蔵の美術品の特別展を開催することを挙げ、「文化交流は日台双方の相互理解を増進し、人的往來の増加をもたらす、双方の新しい関係を推進していくパワーが生まれる」と述べ、さらなる日台交流に期待した。

一方、今井理事長は「これまで日台関係は様々あったが、やはり一番忘れられないのは東日本大震災の際、台湾の方々から思いやり溢れる暖かい支援を頂いたこと。当時の様々なエピソードを思い出すと涙が出てくる」と台湾に対する感動の気持ちを再度表し、「日台は現在、数年前では難しいと思われていた事柄が多面で実現している。双方の関係のさらなる発展に向けて交流協会も努力する」と述べた。

なお、日本中華連合総会の毛利友次会長は華僑を代表し、「我々華僑は2300万人の

台湾人の幸せとアジアの平和、また、アジアの経済交流、台湾の経済発展が一番大切だと思う」と今後の台湾における安泰を祈った。



台北駐日経済文化代表処の沈斯淳代表

東京都知事(1)第九七七一九号

未来を共に創造する

DAISANGEN

台湾人留学生・企業のサポートをいたします。

大家さん募集中!

株式会社 大三元 | 〒171-0021 東京都豊島区西池袋 4-19-4-201
TEL:03-5917-0727 FAX:03-5917-0047 E-mail:chien0621@gmail.com

簡単で効率のよい経理を支援します

大塚会計事務所

起業された方や、J-SaaS(サーズ)やパソコンで会計を始めるという方へ、毎日の経理処理や経理作業を簡単に効率よく進められるやり方をご支援いたします。

お気軽にご相談下さい

〒171-0022 東京都豊島区南池袋2-12-1 佐伯池袋ビル306

TEL: 03-3985-5730
FAX: 03-3985-5731

★山手線新大久保駅2分 ★総武線大久保駅1分

嘉南旅行社

東京都知事登録旅行業第3-4417号(社) 全国旅行業協会正会員

台北 ¥27,000(税別)	北京 ¥30,000(税別)	上海 ¥35,000(税別)
大連 ¥32,000(税別)	韓国 ¥27,000(税別)	越南 ¥32,000(税別)
香港 ¥30,000(税別)	曼谷 ¥32,000(税別)	新加坡 ¥32,000(税別)

●代辦中國、東南亞諸國簽證 ●世界各地便宜機票、酒店及團體旅遊
●來日團體的酒店、派車、導遊 ●電腦訂位、迅速、確實

※銀行匯款口座
精通國、臺、日語服務親切
三菱東京UFJ銀行練馬駅前支店(普) 3678888(名義) 嘉南觀光(株)

營業時間: 週一～五 9:30～18:30 週六 9:30～13:00
TEL: 03-3366-3988 FAX: 03-3366-2989
地址: 〒169-0073 新宿区百人町2-20-1 第二岡田屋ビル401

大鑫産業株式会社

広めよう未来につながる
リサイクル社会

大鑫産業株式会社は、不用品や廃棄物のリサイクルを専門とする会社です。

非鉄スクラップ	自動車部品	OA機器	基板	CPU 貴金属
---------	-------	------	----	---------

◎電子部品、パソコン関係などの在庫処分にお困りの方は、DAIKINにご相談ください。
◎生基板、トナーカートリッジを買取、リサイクルいたします。

DAIKIN TEL. 0297-30-3308(代表) FAX. 0297-30-3309
本社: 〒306-0515 茨城県坂東市菅野6464 http://daikin34.com/index.html

Information エンタメ/イベント/日台交流

大阪中華学校で春節祭開催

中華民国留日大阪中華総会が毎年主催する「台湾春節祭」が2月14日の10時から15時半まで、大阪中華学校にて開催される(雨天決行、入場無料)。会場では、豆花、ねぎ餅、豚まん、台湾ソーセージなどの台湾屋台料理のほか、タピオカミルキティーや烏龍茶などのドリンクが発売される。また、舞台では獅子舞、中華伝統芸、二胡演奏、中華歌謡、民族舞踊、そして豪華商品が当たる抽選会も行われる(枚数限定の整理券発行)。同春節祭は今年で16回目を迎える。昨年は生憎の雨模様だったにもかかわらず約6000人の来場者で賑わった。



今年も開催!大阪で台湾春節祭クが発表される。また、舞台では獅子舞、中華伝統芸、二胡演奏、中華歌謡、民族舞踊、そして豪華商品が当たる抽選会も行われる(枚数限定の整理券発行)。同春節祭は今年で16回目を迎える。昨年は生憎の雨模様だったにもかかわらず約6000人の来場者で賑わった。

問い合わせ↓
在阪華僑春節祭実行委員会 Tel: 06-6271-3185

刊行記念・温又柔さん×中島京子さんトークイベント

2009年に「好去好来歌」(すばる文学賞佳作)でデビューした台湾人作家の温又柔さんは待望のエッセイ「台湾生まれ 日本語育ち」の刊行を記念して2月12日、ジュンク堂書店池袋本店4F喫茶コーナーで日本人作家の中島京子さんとトークイベントを行う(19時30分〜)。中島さんは、台湾・北京・上海が舞台の旅小説集「のろろ歩け」(文春文庫)が台湾で映画化を予定されるなど、台湾に所縁のある作家。同イベントではお互いの共通テーマでもある「歴史」と「コトバ」、「家族」などを切り口に、日本と台湾、そして文学の可能性について語り合う。トーク終了後にはサイン会も予定している。参加には事前予約が必要で、1階サービスコーナーもしくは電話で予約可能。入場料はドリンク付きで1000円(当日支払い)。



温又柔さん×中島京子さんトークイベント
「台湾生まれ 日本語育ち」
我住日語 わたしは日本語に住んでいます。
3歳から東京に住む台湾人作家が、自国・中国・日本、二つの母国(台湾・日本)をめぐり、自身のあり方を追った4年間の日記。

問い合わせ↓
ジュンク堂書店池袋本店 Tel: 03-5956-6111

台湾アートの先駆者、チェン・ジエレン最新作、日本初上映!



陳界仁の作品

台湾文化センターでは2月12日より26日まで毎日、台湾を代表する映像作家の陳界仁(チェン・ジエレン)の最新映像インスタレーション「残響世界(2014)」を、11時、13時、15時、17時より上映する(予約不要)。これに伴いSHIBAURA HOUSEでは、2月16日、17日、18日の3日間(共に19時開演)で、陳界仁によるレクチャーパフォーマンスと、ゲストを迎えた観客との対話の場「コモンズ・トーク(ワンドリンクつき)」を行う。ゲストは、16日が藤井光(美術家、映画監督)、17日は港千尋(写真家、多摩美術大学教授)、18日に笠原恵実子(美術家、多摩美術大学教授)を予定している。同作は、1930年、台湾の日本統治時代に、台湾総督府が設立したハンセン病患者収容施設「楽生院」をめぐる映像作品。同企画は、日本およびアジア地域の芸術文化振興に寄与することを目的に発足した日本の芸術公社が主催するレクチャーパフォーマンス・シリーズの第1弾として行われる。

問い合わせ→芸術公社 TEL: 080-3936-6676

真氣さんコンサート

日本と台湾で活躍する歌手であり、あしかか輝き大使も務める真氣さんのコンサートが3月3日と5日、それぞれ恵比寿と足利市で開催される。同コンサートでは、真氣さんと台湾をより深く繋ぎかけとなった代表曲「サルレンカムイ〜湿原の神〜」や、台湾へ感謝の気持ちを込めて書き下ろした「從心底 謝謝你」、そして、李香蘭さんの名曲「蘇州夜曲」や「夜来香」などの楽曲が披露される。3日は恵比寿のアート・カフェ・フレンズで18時会場19時半開演(料金:3500円+ドリンク代500円)、5日は足利市のハマダホールで14時半会場15時開演(料金:1ドリンク込み3000円)。チケット申し込みはいつでも、氏名、住所、電話番号、希望チケット枚数を記載の上、真氣レーベル(Mail)まで、「今年で311東日本大震災から5年が経ちます。コンサートには台湾のお客様もよくお越しくださるのですが、今回、台湾の皆様へ「ありがとう」の気持ちが届くよう、心を込めて歌わせていただきます。1人でも多くの方に聴いていただければ幸いです」(真氣さん)



問い合わせ↓
真氣レーベル: makilabel@kind.ocn.ne.jp

石垣島で千葉ロッテ vs Lamigo が交流試合

千葉ロッテマリーンズと台湾のプロ球団 Lamigo モンキーズは2月13日と14日、石垣市中央運動公園野球場でアジアゲートウェイ交流戦を行う(11時開場、13時試合開始)。チケットは内外野フリーチケットで500円(大人・子供一律)、島内のチケット取り扱いは、ロッテキャンプ会場内 総合案内所、また、島外からの購入希望者の購入予約についてはこちら→ <http://ishigaki-camp.com/ticket/> (受付期間2/1、10時〜2/1、17時)。また、同交流試合の開催を記念し、2月13日には石垣島新春花火と Lamigo ガールズをゲストに迎えた街コン「Lamigo ナイト」を開催する(会場:美崎町、参加費5500円)申し込みはこちら→ <http://ishigaki-jima.jp/info/6315>



石垣島で千葉ロッテと台湾のLamigoが交流試合希望者の購入予約についてはこちら→ <http://ishigaki-camp.com/ticket/> (受付期間2/1、10時〜2/1、17時)。また、同交流試合の開催を記念し、2月13日には石垣島新春花火と Lamigo ガールズをゲストに迎えた街コン「Lamigo ナイト」を開催する(会場:美崎町、参加費5500円)申し込みはこちら→ <http://ishigaki-jima.jp/info/6315>

問い合わせ↓
千葉ロッテ石垣島協力会: supokou@city.ishigaki.okinawa.jp

室内楽アンサンブルグループ「Cicada」が日本初ツアー

台湾を代表する室内楽アンサンブル Cicada (シカーダ)が2月に初来日し、福岡・北九州・東京の3都市でライブツアーを行う。2月26日は福岡のPapparayray(19時開場/20時開演、前売3500円/当日4000円)、同27日は北九州の旧門司文化服装学院(17時開場/20時半開演、前売3600円/当日4100円)、同28日は渋谷のVACANT(16時半開場/17時開演、前売3500円/当日4000円)で開催される。同ツアーでは、東京のレコードレーベル flau からリリースした「Ocean」、2月にリリースする初期ベスト「Farewell」の2作品を携え、瑞々しく叙情溢れるメロディーとポストロックのダイナミズムが融合した美しいアンサンブルが披露される。詳細はこちら→ <http://www.flau.jp/events/cicada2016.html>



Cicada が来日ツアー開催し、福岡・北九州・東京の3都市でライブツアーを行う。2月26日は福岡のPapparayray(19時開場/20時開演、前売3500円/当日4000円)、同27日は北九州の旧門司文化服装学院(17時開場/20時半開演、前売3600円/当日4100円)、同28日は渋谷のVACANT(16時半開場/17時開演、前売3500円/当日4000円)で開催される。同ツアーでは、東京のレコードレーベル flau からリリースした「Ocean」、2月にリリースする初期ベスト「Farewell」の2作品を携え、瑞々しく叙情溢れるメロディーとポストロックのダイナミズムが融合した美しいアンサンブルが披露される。詳細はこちら→ <http://www.flau.jp/events/cicada2016.html>

問い合わせ→ flau : event@flau.jp (ツアー全体)

「京音-KYOTO-2016」に台湾から2バンド出演

4会場を巡るゴー・ラウンド・イベント「京音-KYOTO-2016」が2月27日、28日に京都府内で行われ、27日には台湾から2グループが出演する。KYOTO MUSEで行われる27日の昼の部(14時開場/14時半開演、ライブハウス2ヶ所通し券4500円)には「落日飛車」が、METROで行われる夜の部(22開場・開演、台湾アーティストも主演当日券2000円)には「森林」が出演予定だ。昼の部チケット購入者はドリンク代のみで夜の部への入場可能。チケットは、ローソンチケット(0570-084-005/Lコード:57136)、e+ (<http://eplus.jp>)、チケットぴあ(0570-02-9999/Pコード:285-140)、楽天チケット(<http://r-t.jp/ky-o-to>)にて発売中。詳細はこちら→京音-KYOTO- オフィシャルHP<www.ky-o-to.com>



問い合わせ→ YUMEBANCHI 06-6341-3525 (平日11:00〜19:00、チケットに関する問い合わせ対応)

「ローカル路線バス乗り継ぎの旅 THE MOVIE in 台湾」が全国公開

テレビ東京系バラエティー「ローカル路線バス乗り継ぎの旅」を映画化した「ローカル路線バス乗り継ぎの旅 THE MOVIE in 台湾」が2月13日より新宿ピカデリー他で全国公開される。同映画には、番組でレギュラーを務める太川陽介さんと蛭子能取さん、そしてマドンナとして初訪台だったという三船美佳さんが出演している。3人は3泊4日で台北から台湾最南端の鵝鑾鼻(ガランビ)灯台まで台湾の路線バスを乗り継ぎ、制限時間内でゴールを目指す。ヒッチハイク、高速バス、電車の使用が禁止という厳しいルールに加え、台風21号の台湾直撃や、言葉・文化の壁が待ち受ける。笑い有り、ボケ有り、涙有りの感動ロードムービーだ。由紀さおりさんが歌う主題歌「人生という旅」も要チェック。



2月13日より全国公開
2月13日より全国公開
3泊4日で台北から台湾最南端の鵝鑾鼻(ガランビ)灯台まで台湾の路線バスを乗り継ぎ、制限時間内でゴールを目指す。ヒッチハイク、高速バス、電車の使用が禁止という厳しいルールに加え、台風21号の台湾直撃や、言葉・文化の壁が待ち受ける。笑い有り、ボケ有り、涙有りの感動ロードムービーだ。由紀さおりさんが歌う主題歌「人生という旅」も要チェック。

問い合わせ→アスミック・エース Tel: 03-5413-4355

Advertisement for Santomi Corporation real estate services. It features three main offers: 1. 徒歩10分 (10 min walk) from Ochanaya Station, rent 57,000 yen. 2. 徒歩7分 (7 min walk) from Otsuka Station, rent 69,000 yen. 3. 徒歩1分 (1 min walk) from Sakahara Station, rent 76,000 yen. All offers include a 1DK unit and a deposit of 0 months/0 yen. The advertisement also includes contact information for Santomi Corporation (Sanfukusha Co., Ltd.) in Tokyo, with phone number 03-5836-6561 and fax number 03-5836-6536.

Advertisement for insurance services by Link Support Group. The headline reads 'あなたに最適な保険が見つかります!' (You can find the best insurance for you!). It offers a free consultation for insurance. The advertisement lists 14 life insurance companies: NN, Affac, MetLife, 楽天 (Rakuten), NISSAY, Gibraltar, Manulife, オリックス生命 (Orixa), MS&AD, AIG, AIG富士生命, 損保ジャパン日本興亜ひまわり生命, MassMutual, TOKIO MARINE NICHIDO, MS&AD, 三井住友海上, MS&AD, あいおいニッセイ同和損保, 富士火災. It also provides contact information for the Link Support Group (本部) in Tokyo, with phone number 03-5288-5354 and fax number 03-5288-5359.

Digest News

— 1ヶ月の出来事をダイジェストで振り返ります

January



Jan5 台湾の「過労死ライン」が日本と同基準に

労働職業安全衛生署は、今年1月1日から実施された完全週休二日制に伴い、健康障害発症のリスクが高まることとされる時間外労働時間「過労死ライン」を改正した。健康障害が起きる直近1カ月間の100時間、または2カ月間ないし6カ月間にわたっては月80時間とし、日本と同基準となる。改正前はそれぞれ、92時間、80時間だった。

Jan5 經濟部、観光工場31カ所と合同キャンペーン

經濟部と中華民国観光工場促進協会は台湾全土31カ所の観光工場と合同キャンペーンを12月31日から2月14日まで開催中だ。北部の11カ所、中部の10カ所、南部10カ所の、衣料品、食品・菓子、日用品、文化・芸術などをテーマとする観光工場が参加しており、スタンプラリーによるプレゼントなども行われている。台湾メディアによると、2015年に観光工場を訪れた観光客数は延べ2200万人、消費規模は40億元(約146億1935万円)となっている(元=ニュー台湾ドル)。

Jan11 75歳以上の運転者の検査実施、高齢者の運転事故防止へ

交通部は満75歳以上の運転免許証(二輪車および四輪車)所有者を対象に、体格検査および認知機能測定検査を実施し、合格した人のみに短期2年間の運転免許証を交付する方針を決定した。現行の法令では、運転免許証に年齢制限はなく終身有効。交通部では今年上半期に関連法規を改正し、6月から周知、指導を図り、来年から正式

に施行する。今回の決定は満75歳以上の人の運転による車両の事故が増えている事への対応措置。試験内容は、体格検査で視力、色弱、張力、運動能力、夜盲症の有無などを調べる。また認知機能測定検査では、試験時の時間や場所の確認、記憶力などをチェックする。

Jan12 エバー航空、世界で最も安全な航空会社第3位の栄誉

世界の航空会社の安全性を調査するドイツの「ジェット・エアライナー・クラッシュ・データ・エバリュエーション・センター(JACDEC)」は、2015年の世界で最も安全な航空会社ランキングを発表。台湾のエバー航空が優れた安全性を評価され見事世界3位に選ばれた。上位1位と2位は

順に香港のキャセイパシフィック航空、アラブ首長国連邦のエミレーツ航空だった。

Jan15 台湾電力がグリーンエネ開発の取り組み、15年で4千億元超投資

台湾電力は再生可能エネルギーの開発を積極的に推進する。今後15年間で4000億元(約1兆3957億日本円)超を投じて、2030年には洋上風力発電180万キロワット、太陽光発電100万キロワット、陸上風力発電と地熱発電を合わせて70万キロワットとする計画だ。同社

再生可能(再生可能エネルギー) 処の陳一成処長は、今年下半期には試験的に井戸掘削作業を行い、来年にも発電装置を設置して試験運転を開始する。初期段階では400キロワット規模の発電を、3年以内に2000キロワットまで引き上げたい、としている(元=ニュー台湾ドル)。

Jan17 台湾がAIIIB加盟を再度申請

財政部はAIIIB(アジアインフラ投資銀行)の加盟を文書にて正式に申請した事を明らかにした。4月にAIIIBの新会員となる事に期待を寄せている。さらに財政部は、「中華民国(台湾)は主権国家で、AIIIB加盟申請は平等と尊敬を前提にしており、地位が矮小化され、またはオプザーパーに

しかなれない場合、参加を見送る」としている。名称についても、「チャイニーズタイペイ(中華台北)」が形容の限界としている。台湾は昨年3月に、AIIIBの創設メンバーの加盟申請文書を送っていたが、最終的に、創設メンバーに選出されなかった。

Jan21 日本統治時代の日刊紙「台湾新民報」が復刻、出版へ

台南市の国立台湾歴史博物館と国立台湾文学館、そして六然居資料室の三者はこのほど、日本統治時代に「台湾の人々にとって唯一の言論機関」と呼ばれた日刊紙「台湾新民報」を復刻し出版した。国立台湾歴史博物館によると、「台南新報」「台湾日報」などの復刻に続き、日本時代の一般の人々

を研究するためのルートを新たに掘り下げたため、今回の同紙復刻を試みたという。同博物館は、「台湾新民報」の復刻は日本占領時代における台湾の歴史と文化の研究に大きく寄与すると共に、台湾に関する研究に新たなエネルギーをもたらす、新たな視野を広げてくれるものとしている。

Jan24 台湾に雪?!各地で大寒波、60人が死亡

台湾では1月下旬の寒波の影響で少なくとも60人が死亡した。死因の多くは低温による心疾患の悪化だという。25日は各地で記録的な低温となり、中部以北の小中学校で休校が相次いでいた。また、中央気象局によると、台北近郊の陽明山の2カ所

で24日、日本統治時代の1937年に観測所が設置されて以来、79年間で最も低い気温を記録した。なお、北東部・宜蘭県の太平山では24日、降雪で山道が閉ざされ、山荘の宿泊客が一時、下山できなくなった。24日の積雪量は合歡山では30センチ、拉拉山では20センチ以上、玉山では16センチだった。台北郊外の猫空や新北市烏來、新店、坪林、基隆市郊外の妻子寮山なども降雪が観測され、台湾中で騒然となった。

Jan24 マジック・パワーの嘎嘎がメンバー脱退

台湾のレコード会社・相信音楽は、相次いで女性関連の不良行為を起したとして、同社所属のバンド「マジック・パワー」(MP 魔幻力量、以下:MP)のボーカル、嘎嘎(ガーガー)を1月31日を最後にグループから脱退させるとした。MPは24日、ライブ「KKBOX MUSIC AWARDS」に

出演。メンバー6人全員が揃った最後の舞台となった。台湾メディアによると、ガーガーは昨年12月下旬、女性アイドルと屋外で不適切な行為におよんだとされている。同6月にも別の女性芸能人との親密な動画が流出し、騒動となっていた。

Jan26 禁輸指定県の日本製菓子1163袋を回収

衛生福利部食品藥物管理署(以下:食薬署)は、台湾が輸入を禁止している福島など5県(福島・茨城・栃木・群馬・千葉)で製造された疑いがある日本製菓子2種類を輸入したとして、載来有限公司と向虹園貿易

有限公司の2社を捜索し、計1163袋を差し押さえた。商品包装上に印字された製造所固有番号から、福島県と茨城県で製造されたとみられている。一部の商品はすでに流通しているため、食薬署は直ちに売場から回収するよう命じた。

Jan27 桃園空港に図書室誕生!待ち時間を有効活用

台湾の窓口、桃園国際空港の搭乗待合室に図書室が誕生した。室内には1200冊ほどの書籍や雑誌、タブレット型パソコンなどが設置され、飛行機の待ち時間を有効活用できるようになった。付近には乳がん防止基金などの慈善団体のブースも設けられ、チャリティーグッズの販売も行わ

れている。桃園空港内には既に無料のシャワー室、インターネット接続サービス、スポーツジムのような運動が出来るスペースなどが設置されているほか、出国エリアでは免税品店と協力してパイナップルケーキやソーセージ、ヌガー、台湾高山茶などの試食試飲も提供している。

Jan27 嘉義にハイヒール型の教会 風土病克服の願い込め

ハイヒールの形をした一見変わった教会が嘉義県布袋鎮に誕生し、台湾で話題となっている。同教会は、風土病克服への願いや将来への希望が込められており、青を基調とした斬新な外観が特徴。高さは17メートル幅11メートル。外面には青のガ

ラスを320枚使用している。同県の張花冠県長は、「この教会は、貧困から抜け出し、幸せに向けて歩いていくという意味が込められている」としている。教会は旧正月前に部分開放予定(1月29日現在)。

Jan27 蔡英文次期総統が日華議員懇談会の議員らと面会

台湾初の女性総統に選出された民進党の蔡英文次期総統は日本の超党派の国会議員で構成される日華議員懇談会の古屋圭司幹事長らと面会した。蔡氏は面会時、日本との経済協力を促進するため、新政権では日本企業界との協力プラットフォームを設置するなどの考えを示した。また、蔡氏は、

経済発展と産業構造の転換が最優先課題だと説明。環太平洋経済連携協定(TPP)への参加や日本との経済関係強化などを指すと語った。これを受け古屋幹事長は、日本政府と日華議員懇談会のメンバーは台湾のTPP交渉への参加を支持すると語った。

Jan28 馬英九総統が南沙諸島の太平島を視察

馬英九総統は、関連省庁の関係者及び専門家を引き連れ、南シナ海にある南沙諸島の太平島を視察した。台湾帰国後の同日夜に行われた国際記者会見で馬総統は、太平島視察の目的について説明。「旧正月期間を前に、太平島に駐在している行政院海峽防務署の職員らの労苦をねぎらう事」、「太平島が台湾の提起する『南シナ海平和

イニシアチブ』実践の起点のひとつとなるよう説明する事」、「太平島が平和的救済の島、生態の島、低炭素の島となるよう、平和への各用途を推進する事」、「フィリピンが中韓大陸に対する仲裁案の中で、太平島の法的地位を引き下げた事について、速やかに厳正なる指摘と説明を行う事」とした。

Jan29 日台プロ野球選手の強化試合、台湾側のメンバー発表

中華職棒は3月5日にナゴヤドーム、6日に京セラドーム大阪で開催する、日本代表と台湾代表による交流試合の台湾選抜メンバーを発表した。リーダーは Lamigo の洪一中監督、隊長は「台湾巨砲」と呼ばれている陳金鋒選手が任命され、メンバーは4チーム、26人のスター選手から選ばれた。投手は Lamigo の王溢正選手、中

信ブラザーズの謝榮豪選手などが務める。世界一奪還を目指す2017年のワールド・ベースボール・クラシック(WBC)へ向けた強化の場となるとされており、日本メディアによると、台湾代表と日本代表は2013年11月に強化試合を行って以来の対戦となるという。日本側のメンバーは2月に発表される予定。

台北駐日経済文化代表処・各分処 ～活動内容情報～

日本にある台湾の代表機関である台北駐日経済文化代表処では、在外邦人の保護、ビザの発給、貿易推進、学術・科学技術・文化・スポーツ交流など、大使館や総領事館並の業務を推進しています。ここでは代表処及び各分処の最新情報を毎月お届けしていきます。

駐日経済文化代表処

サッカーを通して台湾・日本・ブラジルの友好交流が深化

台北駐日経済文化代表処の陳調和副代表は1月7日、東京・江東区の新砂運動場で開催されたサッカーチーム「ブラジル佛光山」国際親善サッカー大会に出席し、挨拶で、「同大会は台湾、日本、ブラジルとの友好の絆をつなぐものであり、意義のある活動だ」と述べると共に、主催した国際佛光山東京協会に対し、感謝の意を表した。同大会には、ブラジルの高校生チーム、日本からは都立東高等学校、私立修徳高等学校の各チームが参加した。当日は僑務委員の何道台氏、東京台湾商工会の陳慶仰会長らも駆けつけ、選手たちを応援した。日本メディアによると、同チームは台湾の宗教法人「佛光山」が2004年にブラジルの



サッカー少年らにエールを送る陳副代表

蘇処長、「日台漁業取り決め」について講演

国立大法学人琉球大学は1月23日、国際討論会を行い、那覇分処の蘇啓誠処長が「日台漁業取り決め」について講演した。蘇処長は講演で、「1996年6月に国際海洋法が誕生してから、領海基線から200海里までの水域を排他的経済水域とされた。日台は経済水域が重なるため、双方は同年の8月に初の漁業会談を行い、2009年までに計16回の会談をするも合意に達しなかった。このため、2012年9月に日本政府が尖閣諸島の国有化を提示し、東シナ海の情勢は緊張感を増した」と説明した上で、馬英九総統が2013年8月5日に、「関係国が自制し、争議を棚上げにし、平和的手段で争議を処理し、並び



日台漁業取り決めについて説明した蘇処長

にコンセンサスを求め、東シナ海行動規範を作り、資源を共同開発するためのメカニズムを構築し、東シナ海の平和を確保するよう呼びかける」とした。「東シナ海平和イニシアチブ」を提起した事を挙げた。さらに、「これにより同年4月10日に開催された第17回漁業会談の際、双方が同意したうえで『日台漁業協定』に調印し、長年の争議を解決するに至った」と成果を述べた。

駐大阪弁事処

大阪分処の処長に張仁久氏が着任

大阪分処の処長を務めていた蔡明耀氏が任期を終え退任し、1月20日、新たに張仁久氏が処長に着任した。

張処長は1984年に外交部に入省し、東京の台北駐日経済文化代表処で秘書官や次長、部長を歴任したほか、大阪分処でも2001年から3年半の間、副処長を務めるなど、日本での業務を中心に実績を残してきた。また、張処長にとって大阪は生誕の地でもある。

「故郷とも言える大阪で再び仕事ができることを本当に嬉しく思っています。担当する2府18県の人々と、経済、文化、教育など様々な分野で交流を進めていきたい」(張仁久処長)。



張仁久処長(左5)を空港で送迎

札幌分処が「北海道日台親善協会連合会新年交流会」を開催

札幌分処は1月15日、札幌市内のホテルで「北海道日台親善協会連合会新年交流会」を開催した。同会には、成立予定の協会を含め、道内の日台親善協会全18団体の会長ほか、大樹町の酒森正人町長、アイヌ民族博物館の野本正博館長らが出席し、交流を深めた。札幌分処の陳仲宏処長は挨拶で、北海道日台親善協会連合会が道内各地の日台親善協会の取りまとめ役として広く北海道と台湾との友好交流拡大のため尽力頂いていることに対し、謝意を表示。また、「同会開設の2009年頃から北海道と台湾との人的交流が拡大、2015年推計値で来道台湾人観光客数が年間50万人を突破するだろう」と述べ、このほ



北海道日台親善協会連合会新年交流会にて

か、経済、文化、スポーツ、青少年等多方面で交流が飛躍的に進展している現状について言及し、2016年も引き続き関係を強化したいとした。なお、同会に参加した北海道各地の日台親善協会の会長らは活動報告を実施した。

駐福岡弁事処

戒総領事が講演で日本の「暗黙知」を評価

福岡分処の戒義俊総領事は1月23日、平和楼で行われた日華(台)親善友好懇話会訪問団帰朝報告会で「暗黙知と日本精神」と題する講演を行った。講演者の戒処長ははじめに、東日本大震災について、「日本人は秩序を失わず整然と行動し、あの悲惨な混乱の中においてさえ、他人を思いやる心を失わなかった。これが他の国であれば略奪や暴動が起きていても不思議ではない状況であり、世界は日本人の品格の高さに驚かされた。昔から日本社会においては「暗黙知」が出来上がっており、言わなくてももしっかり社会秩序を守る潜在意識が身に付いている」と語った。その上で「暗黙知、日本精神、芝山嶺精神の根源は、『心



戒処長は講演で日本の「暗黙知」を評価

駐横浜弁事処

国際企業人材育成センター(ITI) インターンシップ開幕

台湾貿易センターと国際企業人材育成センターは1月20日、ホテルクラウン東京で台湾国際企業人材育成センター(ITI) インターンシップ開幕式を開催した。同式には中華民国対外貿易発展協会の黄文榮秘書長が会場に駆けつけたほか、交流協会の舟町仁志専務理事、横浜企業経営支援財団(IDEC)の牧野孝一理事長、横浜分処の粘信士処長、本年度の日本研修生52人など、約120人が参列した。粘処長は挨拶で、「日本と台湾は1972年以降、すでに61の協議及び協定を締結してきた。また、人的交流も盛んで、昨年の外国人訪台客数は過去最高を記録している」と述べたほか、研修生らに対しては、「この機会



粘処長(左1)がインターン生にエール

に多くを学び、その力を発揮して、日台の経済的協力へ貢献していただきたい」とエールを送った。また、黄秘書長は、「ITIの研修生は11年間で246人に達している。日台の経済交流に新しい風を吹き込んでほしい」と述べた。

※資料提供：駐日経済文化代表処・各分処※

横浜で「台湾の鉄道展」開催

1968年の阿里山森林鉄道の貴重なカラー映像初公開



横浜における台湾関係者らが「台湾の鉄道展」を観賞

横浜の原鉄道模型博物館では1月16日より3月17日まで、「台湾の鉄道展」を開催している。同展の目玉は、世界的に著名な鉄道模型製作及び収集家の故・原信太郎さんが1968年に16mmカメラで撮影した阿里山森林鉄道をはじめとする貴重な鉄道映像。このほか、台湾各地の鉄道の写真及び資料、シェイ式蒸気の模型なども展示されている。同博物館で他国の鉄道特別展示を行うのはこれが初めて。

開幕初日の16日にオープニングセレモニーも開催され、台北駐日経済文化代表処横浜分処の粘信士処長や横浜市文化観光局の中山こずる局長、横浜華僑総会の羅鴻健会長らが来賓として出席した。原信太郎さんのご息で同館の原建人副館長と来賓者がともに開幕を祝したテープカットを行い、展示会視察及び鉄道映像を観賞して台湾鉄道への理解を深めた。このほか同セレモニーには多くの横浜地区における台湾関係者が招待された。なお、原副館長の挨拶の通訳は中華学校卒業の原館長の三女が務め、長女と二女もテープカットの補佐役としてサポートした。

原副館長は挨拶で、「父、原信太郎は小学校の頃から、日本国内に留まらず海外の鉄道雑誌を熟読し、自由に旅行が出来るようになった頃からは世界中を旅して世界の鉄道を勉強し、模型にしてきた」と回顧したうえで、「このたび父の愛した台湾の鉄道をテーマに企画展を開催する事になっ

たが、父は生前何度も台湾に足を運んでいる。その際に撮影した台湾鉄道の貴重な映像には、かつての台湾の姿が明確に残っているのでは非ご覧頂きたい。同展が日本の方のみならず、台湾の方の心に残るものになればと思っています」と述べた。

このたび上映されているカラーで残された阿里山森林鉄道の映像及び台東線などの写真は、台湾国内でも稀少性が高く貴重なもの。原副館長によると、当時の鉄道は、大砲などの兵器を運ぶ役目もあり軍備の1つとして考えられており、台湾国内でも写真撮影が強く禁じられている鉄道も存在したという。それでもお構いなしで夢中になって鉄道の記録に務めた原信太郎さんは、当時、台東線の写真を撮った際にスパイ容疑で捕まり1日刑務所に入った経験もある。

それほどまでして鉄道の記録を残したかった原信太郎さんについて、当時一緒に訪台し、阿里山森林鉄道に乗ったという鉄道著作家の松本謙一さんは「彼は16mmカメラとスチールカメラを抱えて朝から晩まで四六時中駆け回り、非常に精力的だった」と述べた。なお同博物館では1月31日に多目的ルームにて松本さんによる鉄道映像解説イベントも行われた。

「鉄道の世界は国境のない平和な世界である、とよく父から聞いていた。父の想いを台湾のみならず、世界中に向けて届けていきたい」と原副館長と喧伝していた。

世界的な鉄道愛好家、原信太郎



生涯にわたり世界中の鉄道を愛した故・原信太郎さん

ライアン・スーの描く幸運の動物たち

台湾人アーティストのライアン・スー(蘇修賢)の新作個展「The honorable visitor-new paintings-(中国語題:光榮之訪者、日本語題:誇り高き訪問者)」が2016年1月15日から1月30日まで、銀座のMEGUMI OGITA GALLERYで開催された。ライアンは昨年同ギャラリーが運営するshowcaseで個展を開催しており、展示した8作品全てに買い手がつくほどの好評を得たことを受け、このほど2回目の個展開催に至った。



ライアン・スーさん

同展にライアンが台湾から持ちこんだ作品は、1年弱の期間で制作した15点。ギャラリーの真っ白な壁に黒地のキャンバスに描かれた白い15匹の愛くるしい動物達を展示した。「僕はモノクロで動物を描いている。この作風で描き始めたのは2013年の頃。それまでは色味のある絵を描いていたが、より内面を表す方法を探る中で黒地に白で描くという独自のスタイルが出来上がった(ライアン)。

動物たちは、想像の中で出来上がっていく空想の生き物だ。描く動物それぞれの個性や輝きを表現しており、東洋文化に倣って幸運の意味も込めている。今回は15匹の幸運を台湾から連れて来た(ライアン)。

ライアンは以前より、動物やモノなどに意味を持たせる東洋的な考えを重んじており、自身が描く動物たちにも1匹ごとに異なる意味を持たせることで内面を表現してきた。ライアンの描く動物は、見た目の可愛さで人を引きつけるが、よくよく鑑賞すると動物の頭に角のような尖りがあったり、身体に小さな星のような光の集積が描かれていたり、神聖な雰囲気を感じ出されているのも特徴の一つとされる。

「僕の夢は描いた動物たちを世界中に連れて行き各所で個展を開く事。今までに日本、上海、ニューヨークでも開催してきた。また、日本も大好きな国。来ると大体1ヶ月は滞在している。今後は絵を通じた日台交流もしていきたい(ライアン・スー)と抱負を語った。



「Blowing in the Wind」 「Lion and peony」 「Like a river」

「ローカル路線バス乗り継ぎの旅」が台湾を舞台に映画化!

日本のタレント、太川陽介さんと蛭子能収さんが出演するテレビ東京系旅バラエティ「ローカル路線バス乗り継ぎの旅」がこのほど、台湾を舞台に映画化した。同バラエティが海外で撮影を行ったのはこれが初めて。タイトルは「ローカル路線バス乗り継ぎの旅 THE MOVIE in 台湾」とされ、番組レギュラーの太川さん、蛭子さんに加え、今回のマドンナとして三船美佳さんが出演した。

「台湾を舞台に映画化した」と話し、続いて蛭子さんが「日本より面白くなったと思います」と発言すると、太川さんから「より、じゃないでしょ、更に、でしょ!!」と指摘される場面もあり、番組さながらのコンビネーションを見せていた。

1月20日には、同映画の完成を記念して、完成披露試写会が新宿ピカデリーで行われ、主演の3人のほか、主題歌を担当する由紀さおりさんが出席し同映画をPRした。太川さんによると、同試写会には2000人以上の応募があったという。

今回が初めての台湾だったという三船さんは「私も来年で芸歴20年になるのですが、ここまで台本がなく筋書きがないのは初めてでした。打ち合わせでも行きと帰りの飛行機の時間と台湾の地図がと渡されなかったのが不安もありました」と話したが、「困っている私たちを見るとき寄ってきてくれて、自分の時間も借し手差し伸べてくれる現地の方の温かさに助けられました」という。

また、3人が1番大変だったと口をそろえたのが、言葉の問題だ。「言葉がどうしても通じなかった。(中国語の)カードを用意していたがそれを見せると、それに対する答えがわからなくて大変でした(太川さん)。

事前に言葉を勉強したという蛭子さんは、劇中で「公車站在那裡(バス停はどこですか?の意)」と聞かれる場面があったが、試写会では「(言葉の勉強は)したような、しないような・・・あまり覚えていません」「それより印象的だったのは中華料理のお店が多かったこと」など独自の蛭子ワールドで奇想天外なコメントを連発し、会場には終始笑い



左から試写会に登壇した太川陽介さん、蛭子能収さん、三船美佳さん、由紀さおりさん

たが、言葉が通じず四苦八苦一方の由紀さんは「ちょうどバスが揺れるくらいの軽やかなテンポ感のある歌にしました。これから人生の旅をしていく若い方にもわかってもらえるようなテーマ曲になったんじゃないかな」と語った。「ローカル路線バス乗り継ぎの旅」は、2007年から放送されている人気シリーズで、リーダーシップと計画性がある太川さんと、自由すぎる蛭子さんに、マドンナ1人を加えた3人が、路線バスを乗り継いで日程内に目的地への到達を目指すという番組。ヒットチャート、高速バス、電車の使用が禁止という厳しいルールと、失敗してもそのまま放送する「ガチ旅」感が好評を得ている。同映画ではそのルールを変えずに日本を飛び出し、路線バスが普及している台湾を舞台にバスの旅を繰り広げるが、台風21号の台湾直撃や、言葉・文化の壁と戦いながら、台北から台湾最南端の鵝鑾鼻(ガランビ)灯台を目指し、ガチで過酷で時々ゆるい旅を展開していく。内容となっている。(本紙4面に上映情報有り)

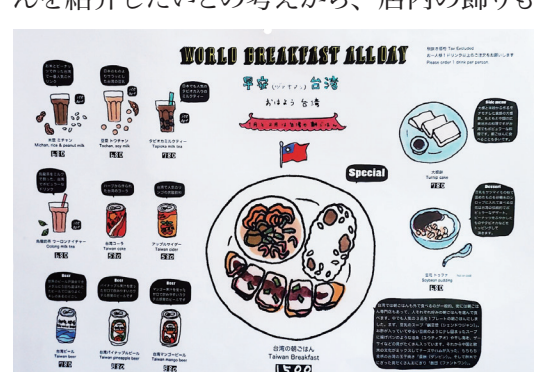
外苑前で“台湾の朝ごはん”を!

「朝ごはんを通して世界を知る」をコンセプトに、2ヶ月毎にメニューを変更しながら各国の朝ごはんを提供している東京・外苑前のカフェレストラン「ワールド・ブレイクファスト・オールデイ(WORLD BREAKFAST ALLDAY)」は1月5日から2月28日まで、台湾の朝ごはんをテーマにしたワンプレートメニューやドリンクなどを提供中だ。

台湾の春節を意識し、賑やかな雰囲気になった。普段は女性客が多く占めまが、台湾をテーマにしてからは男性客の方が多く訪れていますね」と話す。また、これまで他国の朝ごはんを提供した際、各国の在日観光協会などから意見を聞いているというが、今回の台湾メニューは木村さんが自らが1ヶ月の期間をかけ、自身の友人の台湾人など、本場を知る人たちに聞き込みを行い、意見を取り入れながら生活に密着した親しみ易いものを考案したという。

今期間の台湾のメインメニューのワンプレートは、台湾朝ごはんの定番「蛋餅(ダンピン)」と台湾風おにぎりの「飯糰(ファンタウアン)」、そして塩気のある豆乳スープに油條(ヨウティアオ)という揚げパンなどを浸した「鹹豆漿(シェンドウジャン)」が盛りつけされた。さらにサイドメニューは大根餅やデザートの花豆、ドリンクはタピオカミルクティや台湾人が大好きな米漿(ミージャン)や台湾版ココ・コーラの黒松沙士(ヘイソンサーズ)、台湾ビールなどなど。豊富に取り揃えられた台湾バージョンは、店内も台湾の食材やお正月飾りなどを用いた台湾風が装飾されるなど、演出面にも工夫が凝らされている。

「台湾の朝ごはんの特徴は、外で食べる事が多い事だと思う。そして好きなものを自分でチョイスして食べることが出来るからバリエーションも豊富でいいなと思います。ベースは中国の文化ですが、チーズやハムを使ってヨーロッパ風にも見立てたところもあり、そのミックス感がありますよね。僕のおすすめは鹹豆漿。台湾では年配者に好まれ、若い人はあまり食べないと言いましたが、伝統的な朝ごはんを重んじている同店では、これこそ日本人に紹介したいと思い、メニューに入れました(木村社長)。



メニューはイラストでわかりやすく

店内でテーブルの上を目にすると、そこにはお持ち帰り自由の可愛い三角のリーフレットが用意されており、メニューの説明や台湾のプチ情報が書かれている。その台湾情報の内容は、台湾にはまだ行った事がないという木村さんが知人に聞いたり調べたりして、時間をかけて制作したもの。木村さんは、「調べているうちに段々台湾に行きたく



オーナーの木村顕社長

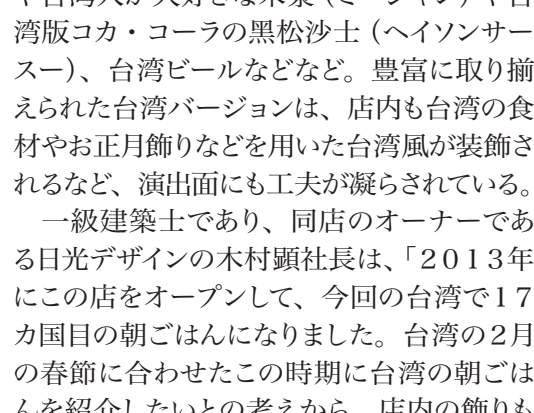
なってきましたね。歴史や文化など知る事で、それをベースに今日の台湾があると解りました。お客様にも、朝ごはんを通してその国の事を理解して頂けたら嬉しいです」と話していた。同店では、より多くの人に台湾の朝ごはんを伝えるべく、2月には、台湾の朝ごはん料理教室やパーティーなどのイベントも開催予定だ(詳細は未定)。

日台間での弁護士による交流会

第二東京弁護士会と台北律師公會は1月11日と12日の2日間、台北にて「日台弁護士による交流会」を開催した。同交流会は、2010年3月に双方間で友好協定が締結された翌年より、相互進を目的に、年に1回の頻度で行われている。初日には共同公開セミナーが開かれ、午

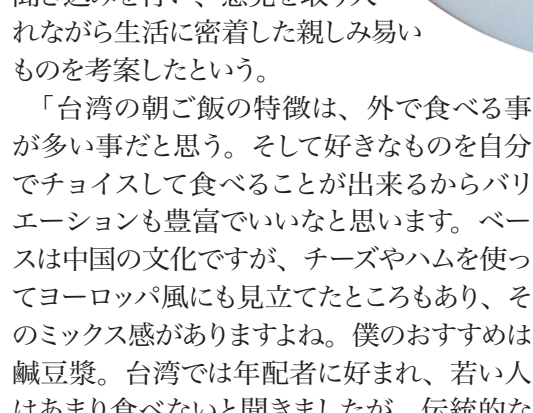
前の部には、鈴木由里弁護士による「日本の不動産投資および管理に関する法律実務」、高志明律師による「台湾の不動産投資および管理に関する法律実務」などの報告と討論が行われた。午後の部には、藤原宏高弁護士による「日本個人資料保護実務紹介」と張菊芳律師による「台湾個人資料保護実務紹介」など、両国の時事法律実務に関する紹介と討論が行われた。また、翌日には台湾高等裁判所、科技法廷と憲法法廷を見学。その後、司法院の頼浩敏院長を敬訪するなど、有意義な弁護士間の日台交流となった。

日台間での弁護士による交流会にて



日台間での弁護士による交流会にて

日台間での弁護士による交流会にて



日台間での弁護士による交流会にて



台湾の朝ごはんワンプレート

オーナーの木村顕社長



オーナーの木村顕社長

台湾人百人百色

李光前将軍を祀る—金門島、莊永才さん

文: 林雅行(映画監督)

金門島は台湾の最前線の島である。1958年8月23日から中国人民解放軍が一斉砲撃を始め、実に50万発の砲弾を撃ち込んだ(823砲戦)。

1942年10月生まれの莊永才さんは16歳。この日は午後、叔父さんと山に農作業に出かけていた。夕方、大根に水をあげていた時、大きな音がした。「演習?」と叔父に尋ねるや否や砲弾が飛んできた。「黒い雨のようだった」と莊さんはいう。近くに通信兵がいたが10人全員が死亡した。砲弾の中を村に向かって逃げた。途中、沢山の雀の死骸を見た。「破片と爆音で死んだのだろう」(莊さん)。

3時間程続いた砲弾が一旦止んだ夜9時半頃、村に戻った。家が破壊された人や、亡くなった人もいたが、莊さんの家は無事だった。ほっと一息つくと、頭に怪我をしていた事に気づき軍の衛生兵に治療してもらった。その日から砲撃は一ヶ月以上続いた。

その9年前、莊さんが7歳の時だった。1949年10月。中国大陸で敗走を続けていた国民党軍は台湾へ退避すべく金門島に集結していた。進撃を続ける共産軍は一挙に金門島を攻略する構えを見せていた。24日の深夜、共産軍は小さなジャンクに分散して金門にやってきた。第一陣は1000艘のジャンクに約9000人の兵士という大軍であった。一方、国民党も金門を最後の砦として布陣をはっていた。金門で陣地を作る時、材料が乏しく寺や建物、墓碑も徴用して築陣していた。

戦闘が始まり、激戦地となったのは金門島の北西の一帯だった。莊さんの村はその

中にあった。砲撃の音を聞いた莊さんはベッドの下に隠れた。

叔父が莊さんをおぶり避難する途中、こわごわ周りをみる莊さんの目に写ったのは兵士か村民か判らない、沢山の死体だった。

「25日の朝、戦車の音が聞こえ村に敵軍がやってきた。共産軍の兵士は黄土色の服で赤い軟かいタイプの帽子をかぶり、腕に朱色の腕章を着けていた。国民党軍は青緑色の服で腕に白のタオルを巻いていた。やはり一番忘れられないのは沢山の死傷者を見たこと。共産軍もいたし、国民党軍もいた」。

25日の戦闘が始まる前は、莊さんの村には国民党軍の青年軍の兵士が数人だけだった。青年軍は10代の兵士ばかりで、装備も簡単なものでしかなかった。3人に一丁の銃しかなかったという。また、金門の国民党軍は、対岸に大量の共産軍が集結していることは判っていたがいつ来襲するかは察知できなかった。村にいた青年軍の兵士の中に李光前という将校(団長)がいた。李光前たちは村で見張りの役目を担っており、部隊本隊は後方の町にいた。そして、村に共産軍が押し寄せた時、李光前は反撃し、身体に銃弾を受け戦死した。「戦死者第一号だった」。

その後、町から国民党の部隊がかけつけ激戦となる。古寧頭戦は、共産軍が戦術的誤算(海の流れを見誤り、小さなジャンクに兵器を分散して乗せたり、上陸後、国民党軍がジャンクを焼き払い退路が絶たれるなど)で敗北する。

わずかな人数で敵にむかって行った李光前の勇姿を賞賛する声に押されて李光前を

祀る廟が作られ、李光前将軍廟と名づけられた。莊さんは戦火を生きながらえたのは、李光前のおかげだと思っている。公務員の人生を経て、その廟で働いていたが、管理者が変わり解雇されてしまった。李将軍に思い入れのあった莊さんは別個に、自ら李光前をまつ「昭忠堂」を作り、いま管理をしている。昭忠堂には莊さんを知る昔からの島の人が来てくれる。ここに来ると不思議なパワーをもらう事が出来ると島の人は言うという。莊さんの語る、李光前将軍の廟の不思議な力。

① 隣の精神の病を患ったお婆さんが廟に来たら3日で治った。

② 金門の診療所で癌と診断され、台湾本島に治療に行く患者が、ここに来たら元気になる、その後、治った。

③ 莊さんの妻が病気で台湾人精密検査に行くことになったが、予定していた飛行機の便を変更した。その予定していた便は事故に遭った。また妻は単なる風邪だった。

金門島の古寧島の戦いと823砲戦を生き抜いた莊さんは、これらも李将軍のおかげだと信じている。



金門島、莊永才さん

More!More!台湾♡

“台湾好き”のきっかけは台湾留学

新年快樂!今回は旧正月ということで初心に戻り、私が“台湾”を好きになるきっかけになった、台湾留学時代の話をしたと思います。

当時大学生だった私が1年休学し、留学先に選んだのは台湾の最高学府と言われている「台湾大学」。台湾大学のシンボルとも言えるあの椰子の木の並木道が気に入って台湾大学の語学センターに通うことを決めました。台湾最高学府ということで一般の生徒たちは秀才ばかりですが、語学センターは普通の人でも大丈夫!簡単な手続きと入学金さえ支払えば入学できます。しかも授業料が他の国に比べて安いんです!1週間に5日、毎日3時間の授業があって、なんと3ヶ月で35000元(約12万円)。半年でも約24万円位です。お得!!

そして始まった留学生活。最初に気になる



漢字ゲーム中のクラスメイト

のがクラスメイトですよ!台湾大学語学センターのクラスは最高でも6人までの少人数制。私のクラスは、英語ペラペラの日本人男性、日台ハーフの大阪人男性、ベルギー人のイケメン、アメリカ人の紳士、韓国人のお婆さん、という組み合わせ。こんな様々な人種に中国語の授業をしてくれるのは台湾人女性の許先生。このメンバーで私の台湾留学生活はスタートしました。

クラスはレベル別に分かれているのですが、私のクラスは初心者クラス。クラス全員、中国語はまったくの素人でした。なので授業は英語で行いますが、英語が得意でない私にとって最初は苦労の連続…。それでも授業が「楽しい」と感じられたのはクラスメイト達のおかげ。違う国の人と同じ言語を学ぶというのはとても不思議、且つエキサイティングな経験で、毎日色々な刺激をもらっていました。たとえば「漢字」。日本人は漢字を普段から用いているので、中国語も文字を見ればなんとなく理解出来ますが、ベルギー人やアメリカ人にとって“漢字”は“絵”を見ているのと同じ感覚なのだそう。授業で漢字をホワイトボードに書くときも、本当に絵を書いているのと同じ要領で線や点を組み合わせていました。また、私たちは何の違和感もなくサラッ

と書いていても、「なぜこの部分はこのような形になるんだ?」、いちいち先生に質問。「漢字」を違った観点から見ている彼らから、漢字の面白さに気付かされました。

文字を書くことは日本人が優れていますが、一方で彼らの方が優れていたのは発音。もともと“r”など、下を巻く発音の言語を使っている欧米人と比べて中国語の発音は難しくないので、でもやっぱりその国その国の個性があって、どうしても英語風、韓国風、日本語風の発音になります。聞いているとちょっと面白いのですが、頑張って覚えてたの中国語で台湾人に話しかけると、台湾人は決して笑わず、ちゃんと理解しようしてくれます。台湾人、やっぱり優しいですよ!

少し話がずれましたが、私は半年間、クラスメイトと一緒に中国語を勉強し、授業以外にも色々な場所に遊びに行ったりして楽しい留学生活を過ごしました。最近、なぜこんなに台湾が好きなのか考えたのですが、台湾に素敵な思い出が沢山あって、素敵な人達に沢山出会った場所だからなのではないかと思っています。今年はずっと台湾を好きになれるように、まだ行ったことのない台湾の地方に足を運び、色々な人と出会い、色々な経験をしてみたいと思います☆

(文: You Li Xiang)

てくてく台湾旅②

松田義人(deco/編集者・ライター)

インディーズ音楽から、台湾の若者の素顔をうかがう

台湾人にとって「歌」はコミュニケーションの一つ?

離島に行くためのフェリーの中でのこと。複数の座席中央に設置されたテレビで、一般人の歌唱力を競う番組が流れていました。当時こういった番組が台湾で人気だったことかもしれませんが、フェリーの乗客(僕以外、全員台湾人)は皆、船酔いそっこのけで画面に釘付け。出場者の誰かが歌い終わると、全員が逐一歌唱力の批評をし、一見だと思われる団体同士でも「歌」の話を通して、何やらゲラゲラ笑っていました。さらに、南部をクルマで走っていたときのこと。たまたま付けたFMラジオでは、どういわけかプロのアナウンサーではない市井のオジサンとおぼしき方による、台湾語の放送が流れました。オジサンは一通り話をした後、「それではこの辺で1曲、音楽でも」と言います。

僕は旅行中なので「情緒ある台湾音楽が聴きたい!」と期待していたのですが、流れてきたのは、そのオジサンによるアカペラ。自分で歌うとは……。オジサンは、3~4分という長尺を贅沢に熱唱した後「というわけでですね」と、普通にまた何かを話していました。

日本人の間では、カラオケに行っても歌わない、またはカラオケ自体を嫌がる人も多ですが、このように台湾では「歌」「音楽」が、割と身近にあるように映ります。そして、歌や音楽を通してみんなで一緒に楽しく過ごすということも、台湾人のコミュニケーションの一つにも思います。

インディーズ音楽専門店が数々オープン!

台湾の音楽は、台湾新聞でもよく紹介されるアイドルもの、シンガーもの、ロックバンド、電子音を多用したハウスミュージック、台湾語の演歌、原住民の音楽まで実に様々。

どのジャンルも台湾らしさ満載で僕は大好きなのですが、まだまだ知られていないのがインディーズ(自主制作)で表現する若手ロックバンドたちです。その多くは、台湾音楽をルーツにしながらも、柔軟に海外の手法を取り入れたオシャレなサウンドばかりです。ただし、台湾国内でこういった

音楽を発表する場は限られているようで、まだまだ知られていないのが現状のようです。こういった事情を反映してか、近年、台北ではインディーズ専門のCDショップの開店が相次いでいます。

自分たちもロックバンドとして活動しながら、台湾国内外でリスペクトする音楽作品を扱うのが、台北駅からほど近い「Waiting Room」というCDショップ。わずか8帖ほどの店内には、所狭しと台湾のインディーズの作品を並べ販売している他、自分たちの表現を少しでも多くの人に知ってもらうとネットラジオも展開しています。サロンの側面もあり、夜帯にお店に行くと、「一緒に飲む」とビールを出してくれることも。いつももらえばなしは悪いので、僕が行くときはお酒をのびせて行くこともあります。

さらに、台電大塚駅付近の小さなビルの地下にある「Mangasick」というお店では、国内外のアダージョウサウンドミュージック、コミック、アートなどの、いわゆるサブカルチャー全般が扱われています。運営するのは、日本語が堪能な気さくなご夫婦で、質問すればいろいろ教えてくれるはずですよ。

そして、師大駅付近にある「小白兔唱片」は、インディーズ音楽を台湾が一番多く扱うお店です。特に台湾語詞による、激しいオルタナティブロックバンドの音楽などは、台湾好き・ロック好きには必聴です。

こういった作品群は、台湾の若者たちによる音楽表現の意欲がビュアに詰まっている反面、流通量が圧倒的に少ないので気軽に買ったものがあれば即買いをお勧めします。まだまだあまり知られぬ、そういった音楽作品から、一般メディアではなかなか伝わってこない「今の台湾の若者たちの表情」がうかがえるかもしれません。



小さなビルの地下にある「Mangasick」

渡辺タカトシの「情熱と誇りでトライ&エラー」

日本と台湾をまたいで働く若者達の過去・現在・未来!

台北市内から中山北路を北上し中山北路六段、アメリカンスクールの真向かいに立地する場所に台北日本人学校がある。年明けの1月、私は、在校生に向けて1月29日に行なう特別授業の打ち合わせをするため、久しぶりに日本人学校を訪れた。中山北路でタクシーを降りると、何年経っても変わらないグラウンドや校舎が見え、生徒達の元気な会話や笑い声が聞こえてくる。スポーツは国境を超えると言うが、あの赤土のグラウンドでサッカーに明け暮れ、現地校の生徒とサッカーの試合をして友情を育んでいた日々を思い出す。20年経った今でも「自由」な校風や、生徒達の目の輝きを見ると、あの頃から時間が止まっているかのような錯覚に陥る。そして、大人になってそんな感動が出来る事を贅沢に思う。さて、1月29日、日本人学校の在校生に向けて行なう「特別授業」では、私がこれまで先輩方から教わってきたことや、私が現在経験していることを伝えようと思う。その中で在校生達が「台湾で暮らしている今」から将来へのヒントが見つければ良いと思う。そして、今月の若者紹介では、学生時代にテニスで日本と触れ合ったことがきっかけで日本に興味を持ち、現在は台湾と日本を行き来し働いている台湾出身の20代女子を紹介したいと思います。

台北生まれの27歳。東京に暮らし日本語を流暢に話す容姿端麗な台湾美女!現在は、スポーツだけでなく、音楽や映画などのエンターテインメントを通じて台湾と日本の架け橋になる仕事をしている。彼女が日本に興味を持ったきっかけは、彼女がテニスのジュニアプロとして活動していた12歳のとき。世界ツアーで出会った日本人が彼女にとって初めての日本体験。その日本人に優しくしてもらったことが忘れられず、日本への興味や「日本に行ってみよう」という想いを持つようになったという。

そして彼女の転機は、台北で暮らし、テニスをしてきた高校時代。台湾に遠征に来ていた日本の高校チームからのテニスカウトの話で、悩んだ末に人生の大きな決断をしたという。日本に来てからは日々テニスに打ち込み、台湾人でありながら日本の高校生としてインターハイへの出場や、大学ではインカレなどで全国的に活躍していた。そして卒業後も日本に残り、テニスプレイヤーとしてだけでなく、日本から台湾へのテニス遠征などのイベントを企画するようになっていった。さらに、現役を終えた現在では、台湾と日本の架け橋となる活動に力を入れ、テニスというスポーツだけでなく、音楽アーティストの台湾コンサートの企画や、映画・テレビ番組の日台合作制作など幅広い分野で活躍している。さらに、台湾から日本に来る留学生向けに、自身の体験や経験で学んだ「日本で楽しく生活するために知っておくと良い日本文化や、日本人の性格や考え方を伝えていくこと」にも積極的に取り組んでいる。「日本で生活し働くことは、正直、疲れます」と笑いながら話していたが、それでも「台湾人の性格や慣習を日本人にもっと知ってもらいたいの、台湾人にも日本をもっと知ってもらって、台湾と日本がもっと理解し合えるファミリーな関係になっていければ良いと思っています」と語ってくれた。

彼女の名前は頼文慈(ライウエンツー)。



エンターテインメントを通じて日台の架け橋を目指す頼文慈さん

たいわん捲る臺灣

「台湾旧神社故地への旅案内-台湾を護った神々-」

本書「台湾旧神社故地への旅案内-台湾を護った神々-」は、13年間に渡り、台湾に造営された380箇所以上の神社跡地を廻り、纏め上げた台湾の神社に関する唯一のガイドブックであり、また研究書ともなり得る1冊である。本書では、一般の訪問者が比較的容易に訪問できる61箇所を往時の写真および遺跡の写真とともに、細かく丁寧に紹介している。また、神社跡地付近の遺跡の数々を「歴史散歩道」として掲載しており、これまで余り知られていないスポットも取り上げられている。さらに、巻末には「神社一覧表」が添付しており、台湾に造営された神社403箇所を掲載し

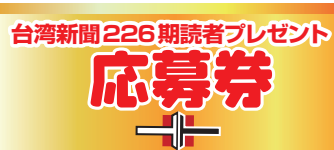
ている。神社に関心の無い読者でも、台湾の歴史にこれまで埋もれていた史実を知り得ることができらるだろう。本書を片手に“台湾の神社巡り”というのも、新しい台湾の楽しみ方としてお勧めしたい。

著者の金子展也氏は昭和50年に小樽商科大学小学部を卒業。その後、日立系の商社に勤務し、平成13年より18年まで台湾に駐在。現在は神奈川大学非文学資料研究センター研究協力者として海外神社の調査・研究、及び一般財団法人台湾協会評議員として日台交流の活動をしている。

読者プレゼント企画

台湾新聞をご覧の皆様の中から抽選で1名様同書「台湾旧神社故地への旅案内-台湾を護った神々-」をプレゼント致します!応募方法は、ハガキに応募券の切り抜きを貼り付け、お名前、ご住所、お電話番号及び台湾新聞へのご意見感想を明記のうえ、台湾新聞編集部までお送りください。当選のご連絡は発送をもって代えさせていただきます(2月中に発送予定)。締切り: 2月15日(消印有効)

台湾新聞編集部 〒171-0021 東京都豊島区西池袋4-19-4 / tel:03-5917-0045



台湾新聞226期読者プレゼント応募券

著者: 金子展也
刊: 神社新報社
頁: 247ページ
定価: 2400円+税
発売日: 平成27年9月1日

原住民歌姫・アーメイが東京で“近距離”ライブ



透き通るような美声でファンを魅了した

阿妹(アーメイ)の愛称で知られる、台湾原住民のプユマ族出身の歌手・張恵妹は1月24日、Zepp Tokyoでライブ「烏托邦世界巡城演唱會/UTOPIA 2016 WORLD TOUR 東京スペシャルライブ」を開催し、力強くも透明感のある歌声を東京に響かせた。会場は満席、1階と2階の立見席もこの日を楽しみにしていたファンたちで満員状態となった。

アーメイは最初のトークタイムで「今回のライブは特別。(ファンのみならず)こんなに近いなんて!みんなも(舞台に)上って来れそうだし、私も舞台を降りちゃうかもしれない!」と大胆発言し会場は大盛り上がり!ライブ中、実際に会場に降りる事はなかったが、ファンたちの「アーメイ愛してる」などの掛け声に頻繁に反応し、

一緒に歌ったり踊ったりするよう促すなど、会場全体でライブが創り上げられているようだった。

今回のライブでアーメイは、「你想幹什麼」「跳進來」のようなアップテンポの曲のほか、「我可以抱你嗎?」「聽海」「三月」などのバラードを披露。「今日はライブの時間が短いから、みんなのテンションがハイになったと思ったら次は悲しいバラードを歌わなきゃいけないね、みんな準備は大丈夫?」(アーメイ)とファンを気遣う場面もあった。

また、日ごろより同性愛イベントなどを支援してきたアーメイだが、今回のライブでもLGBTのシンボルとなっているレインボーを象徴する楽曲「彩虹」を、「Tokyo」と書かれたレインボーの大きな旗を掲げて熱唱し、「愛は平等」と訴えた。さらにアーメイは同曲を歌唱する前に、「画面に映ったら、あなたの隣にいる愛する人にすぐにキスしてね!恥ずかしがらないで」と呼びかけており、大画面に映った観客がキスをするたびに会場は沸いていた。その後、終盤で人気曲の「三天三夜」が披露されると会場はこの日一番の盛り上がりを見せており、ライブ終了後もアンコールの声が止まらなかった。

ライブをみた台湾人女性は「私は日本で

働いていますが、今日を楽しみにしていました。アーメイの歌声は本当に綺麗。時間の都合でアンコールがなかったのは残念。またライブに行きたいです」とコメント。大阪からわざわざライブに来たという日本人男性は「アーメイは前から大好きで、日本でのコンサートにも3回ほどいった。彼女の歌声は心に沁みる。東京だけじゃなく大阪でもライブをしてほしい」と話し、アーメイの更なる日本での活動に期待を寄せていた。



歌手のアーメイが東京ライブ

台湾で日本地方産品が展示販売

「ふるさと名産物発掘・連携促進事業」として日本の優れた地方産品の一部商材の展示販売が1月22日、台湾の誠品生活(誠品書店=台北市松高路)ほか有名ショップで開かれた。運営先のリヴァンプ(本社=東京都千代

田区、澤田貴司社長)が経済産業省の執行事業者として「The Wonder 500 TM」の名称で総括事務局を担っているもので、地方の名産品の発掘と一部の商材の販売と広報を主力事業に、全国各地で展示している。昨年5月より「地方創世総合戦略」の一環としてこれまで約500のアイテムが発表・公開されている。

海外への発信は15年9月のパリ皮切りにロンドン、香港などで行っている。今回の台湾では、同22日より24日までの期間、台湾カルチャーの発信源として知られる誠品書店でコラボした企画を展開した。初日にオープニングイベントが開かれ、名産品の製造元、藍色工房の坂東未来社長が訪台し、実務を兼ねたワークショップを実施した。このほか好様、小器、FUJIN、TREEなど台湾で有名なショップでも展開され、FUJIN、TREEではプレスルームも開設され、メディア及びインフルエンサー、バイヤー関係への取材対応や商材貸し出しを行うなど積極的な展開に終始した。

リ社は海外展開先として1月下旬に米国で実施したほか、2月にタイ王国での実施を予定している。なお、リ社のほか、パートナー

企業として樞出版、凸版印刷、アイディーテンジャパンが努めている。

《販売商品 in 台湾》



山田繊維株式会社の福コチャエ

有限会社藍色工房の藍染め石けん(いつまつ・ふたえ・紙ふぶき)

日本語で台湾を歌い伝えるシンガーソングライター

日本を拠点に活動している日台ハーフのシンガーソングライター・洗美・hiromiさんは1月15日、3枚目のアルバム「ラムネの向こう側」を発売した。同アルバムには全11曲が収録されており、その半分は台湾の九份や十份の景色を歌った曲や、中国語を織り交ぜた曲など、台湾に関する事柄を日本語の歌詞にしたためた歌曲の構成となっている。また、今回はタピオカミルクティを題材にした歌曲「珍珠奶茶〜タピオカミルクティ〜」の日本語版と中国語版も同時収録されている。洗美さんがアルバムに中国語歌詞の曲を収録するのはこれが初めて。FacebookなどSNSのファンページに台湾人ファンからの書き込みが増えたことなどを意識しての挑戦だ。

洗美さんは、同アルバム発売について、「これからは台湾でも活動していきたい」と想い、今回のアルバムには中国語の曲を入れました。タピオカのもちもち感を表す中

国語の『キューキュー』などの擬音も取り入れて可愛い曲になっています。日本の人にも、台湾の人にも聞いて頂きたいです」とコメント。

洗美さんは台湾で生まれ、中学校まで台湾の日本語学校に通っていたため母国語は日本語。18歳の頃に単身で来日し、「音楽を通じて日本語で台湾のことを日本人に伝えたい。日台の架け橋になりたい」との想いからシンガーソングライターになった。現在はライブハウスでのライブ活動を中心に、ラジオのパーソナリティなども務める。

「これからは台湾でも活動を開始し、いずれは日本と台湾を行き来してライブなどを行っていききたい。おばあちゃんになっても今より劣らぬ歌声で歌うことが目標です」(洗美さん)。

なお、洗美さんは同アルバムの発売を記念し2月20日、東京豊島区の「大塚 All in Fun」で全国発売記念ワンマンライブ「ラムネ

の向こうの裏側」を開催する。限定30席で、同アルバム収録曲を披露するほか、台湾についてのトークやアルバム制作時の裏話などを語る。

詳細はこちら↓
<http://hiromi629.wix.com/hiromi>



洗美 3rd Album「ラムネの向こう側」



台湾新聞226号CDプレゼント

応募券

台湾LCCの福岡便が続々就航



記念式典にて(写真提供:福岡空港)

台湾の格安航空(LCC)のV-Airは1月25日、「台北/桃園〜福岡」間に初の定期便を就航させ、一番機が飛来した福岡国際空港ロビーで歓迎式典を開催した。同28日には、タイガーエア台湾も参入したため、これによりLCC2社が福岡に就航する事になった。V-Airは毎日1往復、タイガーエアは月、火、木、金、日曜の週5往復を運航する。

両社は、日台の若い世代をターゲットに就航先を模索していたが、若年代が活発で、しかも人口が増え続けている福岡市を選定したとみられる。

1月25日のV-Air就航式典で台北駐福岡経済文化辦事處の戎義俊處長(総領事)は開口一番、「待ち遠しかった九州と台湾の間のLCC就航が今日実現した」と喜びをあらわに。さらに昨年の日本の流行語大賞を獲得した「爆買い」と「トリプルスリー」を引き合いに出して挨拶した。「爆買いは中国の観光客の得意芸と思われているが、昨年は台湾からの観光客367万人が1人当たり24万円を消費するなど、日本経済に大いに貢献した」また「昨年の台湾人訪日観光客が初めて300万人を超え、このうち30万人以上が福岡県内のホテルに宿泊。熊本

〜高雄便にLCC2社と福岡〜台北の就航など、台湾と九州を結ぶ定期便が3路線増えたのは、我々にとってのトリプルスリー」と解説。これをベースに日台のウイン・ウイン関係の一層の発展に期待感を示した。

続いて挨拶に立ったV-Airの隆章琪CEOは、同社が福岡〜台湾の初のLCCである事を喜び「この実現に協力と指導を頂いた国交省、辦事處、観光局、日本旅行業協会など、関係各機関へ感謝します」との意を表した。さらに福岡を選んだ理由については「福岡は日本で一番住みやすい都市に選ばれたと聞き、さらに台湾の観光客にも人気が高い」とし、「日台の若者がLCCを利用する事で往来頻度を増加させ、相互理解を深められる様、低料金で質の高いサービスを提供するつもりです」との決意も表明した。

なお、式典では国土交通省福岡空港長、福岡県空港対策課長、福岡市経済観光文化局理事、福岡空港ビルディング社長、台北駐福岡経済文化辦事處長、台湾貿易センター福岡事務所長とV-AirのCEO、COOの8人が壇上に上がり、お祝いのテープカットをして記念式典に華を添えた。



福岡空港ではV-Airの乗客に記念品が授与された(写真提供:福岡空港)

訪日台湾人向け観光サイトが台北にアンテナショップ・カフェを開設

台湾人向け日本観光情報サイト「ラーチャー!日本」を運営するジーリーメディアグループ(本社:東京都渋谷区、代表取締役:吉田皓一)は1月27日、台北の流行発信基地として知られる東区に日本をテーマにしたアンテナショップ「MiChi cafe」をプレオープンさせた。同店は、日本各地の魅力を積極的に発信し、日本商品の販売促進、台湾人観光客増加を目的に開設。2月18日にランドオープンとなる。

事業としては、日本の地域で期間限定販売されている台湾未発売の雑貨や化粧品、文具などの「日本製品の販売」、チラシやクーポン、サンプリング配布などを用いた「観光情報の発信」、北海道、沖縄など日本各地をテーマにしたオリジナル料理と個性的なドリンク、夜間には日本酒の提供をするという新しい「カフェ運営」、日台のビジネス活性化・文化交流促進を支援した「イベント・セミナー開催」の4つを中心に運営していく予定だ。同店で販売する商品は台湾にはまだ流通していない、こだわりの限定品などを取り扱い、他のアンテナショップとの差別化を図る。

同社によると、近年、台湾で商品販売したいという日本企業や、台湾人観光客を呼び込みたい自治体が増加傾向にあり、一方の70万人を超える同サイトの台湾人ユーザーからは、サイトで紹介された商品を「台湾で買いたい」という声が上がっていたことを背景に、実店舗のオープンを決定。今後は、同サイトと実店舗が連動し、現地台湾人に向けて日本の魅力を様々な形で発信する。

北海道との連携で道産品PR

なお、同社はアンテナショップの開設にあわせ、国土交通省北海道開発局と北海道テレビ放送(以下:H T B)と手を組み、北海道産品の情報発信のために放送とウェブのクロスメディア展開を行う。同サイトとH T Bの海外向け番組「LOVE HOKKAIDO」が連携し、台湾と北海道双方のテレビ放送及び同サイト記事配信で商品PRを実施する計画だ。

また、同店での北海道産商品の販売も開始。北海道国際輸送プラットフォーム推進協議会が北海道食品の輸出拡大や物流活性化を目的に取り組み「HOP1サービス」を利用して、直送された道産品の購入を可能とした。同サービスは、輸出手続きも含まれているため、為替リスク、代金回収リスクも発生しない利点があり、ダンボール1箱から航空輸送出来る

「ラーチャー!日本」は、台湾人向け日本観光情報サイトとして2011年にサービスを開始し、現在までに北海道をはじめ、東北、東京、大阪、京都、九州、沖縄など11のエリア版を開設。各地域で訪日台湾人観光客を呼び込みたい店舗や自治体・公共交通機関・北海道日本ハムファイターズなどのプロ野球球団等と連携し、地元の魅力を紹介。台湾人ライターが執筆する台湾人目録の記事が受け、毎月70万人以上に利用されている。

読者プレゼント企画

台湾新聞をご覧の皆様の中から抽選で3名様に同書「洗美 3rd Album「ラムネの向こう側」」をプレゼント致します!応募方法は、ハガキに応募券の切り抜きを貼り付け、お名前、ご住所、お電話番号及び台湾新聞へのご意見感想を明記のうえ、台湾新聞編集部までお送りください。当選のご連絡は発送をもって代えさせていただきます(2月中旬に発送予定)。

締切り:2月20日(消印有効)
台湾新聞編集部〒171-0021東京都豊島区西池袋4-19-4 / tel:03-5917-0045

絶賛発売中!!

店頭で使えるおトクなクーポン付き

家庭で作れるかんたん台湾料理レシピ付き

日本で堪能できる台湾料理のお店を厳選して掲載しました。

Delicious Taiwan VOL.2

定価:¥1,500+税

お問い合わせ:台湾新聞社 台湾新聞美食部門
Tel:03-5917-0045 Mail:info@taiwannews.jp